

2021（令和3）年度
備前市 市民意識調査報告書

目次

I. 調査概要	1
1. 調査目的	1
2. 調査方法	1
3. 回収結果	1
4. 留意点	1
II. 調査結果	2
1. 回答者の属性	2
(1) 性別	2
(2) 年齢	2
(3) 居住地	2
(4) 同居の家族	2
(5) Web 回答	3
2. 評価すべき取組と今後重点的に進めてほしい取組	4
(1) 評価すべき取組	4
(2) 評価すべき取組×備前市への愛着及び定住意向	5
(3) 今後重点的に進めてほしい取組	6
(4) 今後重点的に進めてほしい取組×備前市への愛着及び定住意向	7
(5) 具体的な取組の評価と重点	8
3. まちの評価	18
(1) 備前市への愛着	18
(2) 定住意向	19
(3) 子育て環境	20
(4) 高齢者福祉	21
4. 新型コロナウイルス感染症	22
(1) 新型コロナウイルスワクチン接種	22
(2) 新型コロナウイルスの影響	23
5. 普段の生活	24
(1) 自発的な学習への取組	24
(2) スポーツ（運動）への取組	25
(3) 市内の体育施設の利用頻度	26
(4) 男女の対等な活躍の状況	27
(5) 暴力（DV）に関する相談窓口の認知度	28
(6) 旧閑谷学校の理解度	29
(7) 芸術・文化に触れる機会	30
(8) 防災訓練活動への参加状況	31
(9) 災害等に備えた備蓄品の準備状況	32
(10) 自分の健康への関心	33
(11) スマートフォン（タブレット型端末を含む）の保有状況	34
(12) キャッシュレス決済（クレジットカード、電子マネー、QRコード決済など）の利用状況	35

(13) 市の窓口対応の状況	36
(14) 「広報びぜん」の認知度	37
(15) 市議会議員の活動内容の認知度	38
(16) 「市議会だより」の認知度	39
6. 市政への意見	40
Ⅲ. 巻末資料（調査票）	43

I.調査概要

1.調査目的

本調査は、市が担うサービスの受け手である市民のみなさまに、市のこれまでの取組に対する評価をいただくとともに、これからのまちづくりに対する考えをお伺いし、今後の市政運営の基礎資料として役立てることを目的として実施しました。

2.調査方法

本調査の実施概要は以下のとおりです。

項目	内容
①調査対象	市内在住の18歳以上75歳未満の3,000人
②抽出方法	2021（令和3）年4月1日現在で満18歳以上75歳未満の市民から無作為抽出
③調査方法	調査票を郵送で配布・回収、インターネット回答
④調査期間	2021（令和3）年度6月7日（月）～6月25日（金） ※6月30日（水）到着分までを集計・分析

3.回収結果

本調査の回収結果は、以下のとおりです。なお、参考までにH20以降の回収結果も掲載しています。

項目\年度	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H27	H29	R1	R3
抽出数(件)	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,500	3,000	3,000
返送数(件)	10	6	8	11	8	7	0	6	0	10
実送付数(件)	1,990	1,994	1,992	1,989	1,992	1,993	2,000	2,494	3,000	2,990
有効回答数(件)	892	977	811	892	702	844	815	836	945	1,041
有効回答率(%)	44.8	49.0	40.6	44.8	35.2	42.3	40.8	33.5	31.5	34.8

4.留意点

本調査の結果に関する留意点は以下のとおりです。

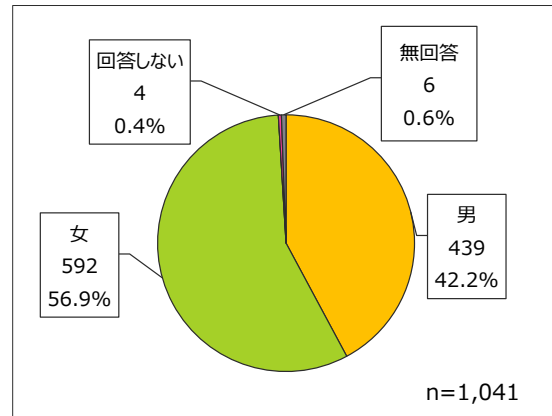
- ① 結果は百分率で表示しています。なお、百分率は小数点第2位を四捨五入しているため、比率の合計が100%と一致しない場合があります。
- ② 二重回答や判読不能の回答などは、無回答に含めています。

Ⅱ.調査結果

1.回答者の属性

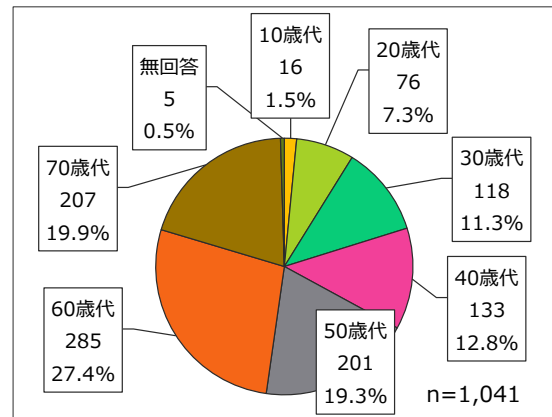
(1) 性別

「あなたの性別は？」の結果、「男」が439件(42.2%)、「女」が592件(56.9%)となっています。



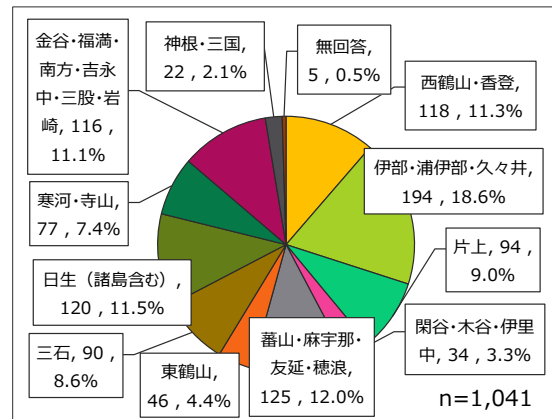
(2) 年齢

「あなたの年齢は？」の結果、「60歳代」が285件(27.4%)、「70歳代」が207件(19.9%)であり、60歳以上が47.3%となっています。



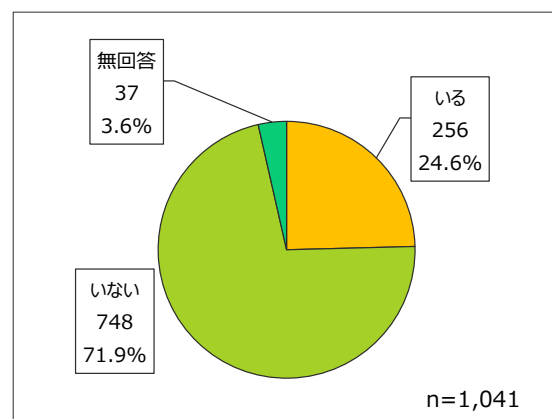
(3) 居住地

「あなたの居住地は？」の結果、「伊部・浦伊部・久々井」が194件(18.6%)、「蕃山・麻宇那・友延・穂浪」が125件(12.0%)、「日生(諸島含む)」が120件(11.5%)となっています。



(4) 同居の家族

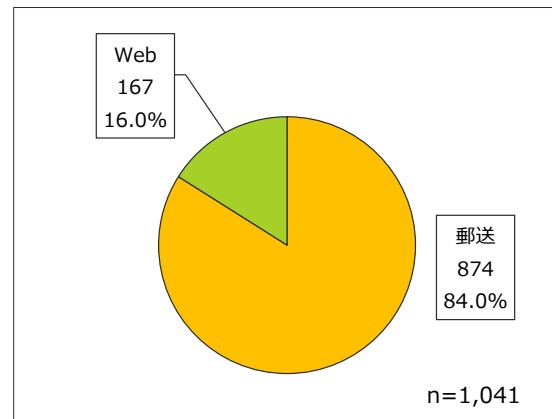
「あなたも含め、同居のご家族の中に高校生以下の方がいらっしゃいますか？」の結果、「いない」が748件であり、全体の71.9%となっています。



(5) Web 回答

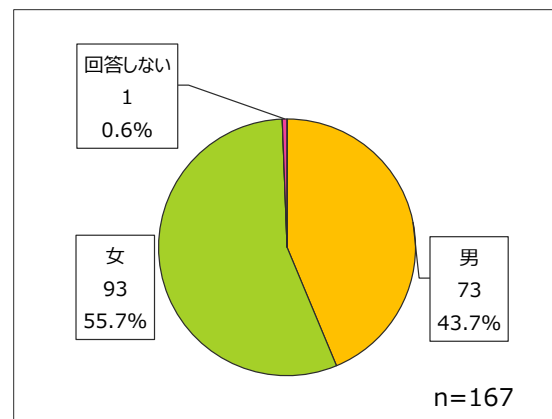
① 回答方法

本調査の回答方法は、「郵送」が 874 件、「Web」が 167 件であり、Web は全体の 16.0%となっています。



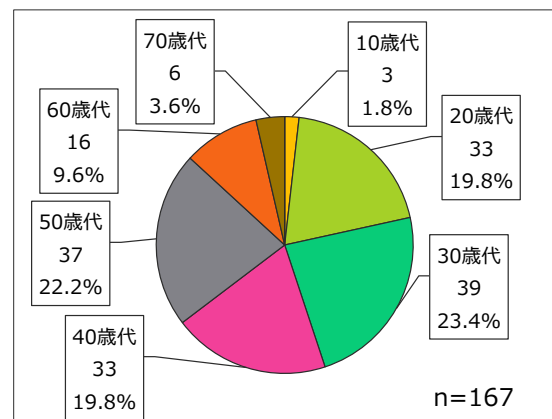
② Web 回答者の性別

Web 回答者の性別は、「男」が 73 件（43.7%）、「女」が 93 件（55.7%）となっており、女性が半数を超えています。



③ Web 回答者の年代

Web 回答者の年代は、「30 歳代」が 39 件であり、全体の 23.4%となっています。また、「50 歳代」が 37 件（22.2%）、「20 歳代」「40 歳代」がともに 33 件（19.8%）となっています。



2. 評価すべき取組と今後重点的に進めてほしい取組

(1) 評価すべき取組

「1～28の番号のなかで①評価できるものを3つまで選んでください」の結果、「子育て支援」が281件（27.0%）ともっとも評価が高く、次いで、「0歳～入学前のこどもの保育など」が245件（23.5%）、「「ごみ」や「斎場」、「墓地」が137件（13.2%）となっています。

順位	No	項目	回答数	割合	
1	10	子育て支援	281	27.0%	281
2	2	0歳～入学前のこどもの保育など	245	23.5%	245
3	27	「ごみ」や「斎場」、「墓地」	137	13.2%	137
4	14	医療	132	12.7%	132
5	9	健康づくり	117	11.2%	117
6	3	学校教育	106	10.2%	106
7	23	上水道	97	9.3%	97
7	26	「バス」や「JR」	97	9.3%	97
9	13	高齢の方への支援	80	7.7%	80
10	21	「消防」と「防災」	79	7.6%	79
11	19	「移住」と「定住」	70	6.7%	70
12	1	生涯を通じた教育	64	6.1%	64
13	24	下水道	52	5.0%	52
14	5	「スポーツ」や「レクリエーション」	48	4.6%	48
14	6	「コミュニティ」や「町内会」	48	4.6%	48
16	17	観光	40	3.8%	40
17	4	「歴史文化」と「伝統文化」	33	3.2%	33
18	12	障がいがある方への支援	24	2.3%	24
19	8	国際交流	22	2.1%	22
20	18	まちづくり	20	1.9%	20
21	16	「農業」や「林業」、「漁業」	18	1.7%	18
22	25	「道路」や「港」	16	1.5%	16
23	15	「商工業」と「海運業」	13	1.2%	13
23	20	「住居」と「分譲宅地」	13	1.2%	13
25	11	生活に困っている方への支援	12	1.2%	12
25	22	「河川」や「土砂災害」	12	1.2%	12
27	28	「公害」と「地球温暖化」	6	0.6%	6
28	7	人権問題	3	0.3%	3
-	-	無回答	284	-	
-	-	合計	2,169	-	

※割合は、有効回答数を分母として算出。

※無回答は、グラフ表示の対象外。

(2) 評価すべき取組×備前市への愛着及び定住意向

「1～28の番号のなかで①評価できるものを3つまで選んでください」の結果について、「あなたは、「備前市」に愛着を持っていますか？」及び「あなたは、今の場所に住み続けたいと思いますか？それとも引っ越したいと思いますか？」の回答別に集計した結果は以下のとおりです（※それぞれ上位5の取組）。

① 備前市への愛着があると回答した方が評価している取組

備前市への愛着がある（「愛着がある」または「やや愛着がある」）と回答した方（n=707）は、子育て支援に関する取組の評価が高くなっています。

順位	No	項目	回答数	割合	
1	10	子育て支援	200	28.3%	 200
2	2	0歳～入学前のこどもの保育など	176	24.9%	 176
3	27	「ごみ」や「斎場」、「墓地」	104	14.7%	 104
4	14	医療	97	13.7%	 97
5	3	学校教育	86	12.2%	 86

② 備前市への愛着がないと回答した方が評価している取組

備前市への愛着がない（「あまり愛着がない」または「愛着がない」）と回答した方（n=214）も、備前市への愛着がある方と同様、子育て支援に関する取組の評価が高くなっています。

順位	No	項目	回答数	割合	
1	10	子育て支援	56	26.2%	 56
2	2	0歳～入学前のこどもの保育など	54	25.2%	 54
3	9	健康づくり	24	11.2%	 24
3	14	医療	24	11.2%	 24
5	27	「ごみ」や「斎場」、「墓地」	20	9.3%	 20

③ 備前市に住み続けたいと回答した方が評価している取組

備前市に住み続けたい（「今の場所に住み続けたい」または「市内でよいところがあれば引っ越したい」）と回答した方（n=659）は、子育て支援に関する取組の評価が高くなっています。

順位	No	項目	回答数	割合	
1	10	子育て支援	200	30.3%	 200
2	2	0歳～入学前のこどもの保育など	176	26.7%	 176
3	27	「ごみ」や「斎場」、「墓地」	104	15.8%	 104
4	14	医療	97	14.7%	 97
5	3	学校教育	86	13.1%	 86

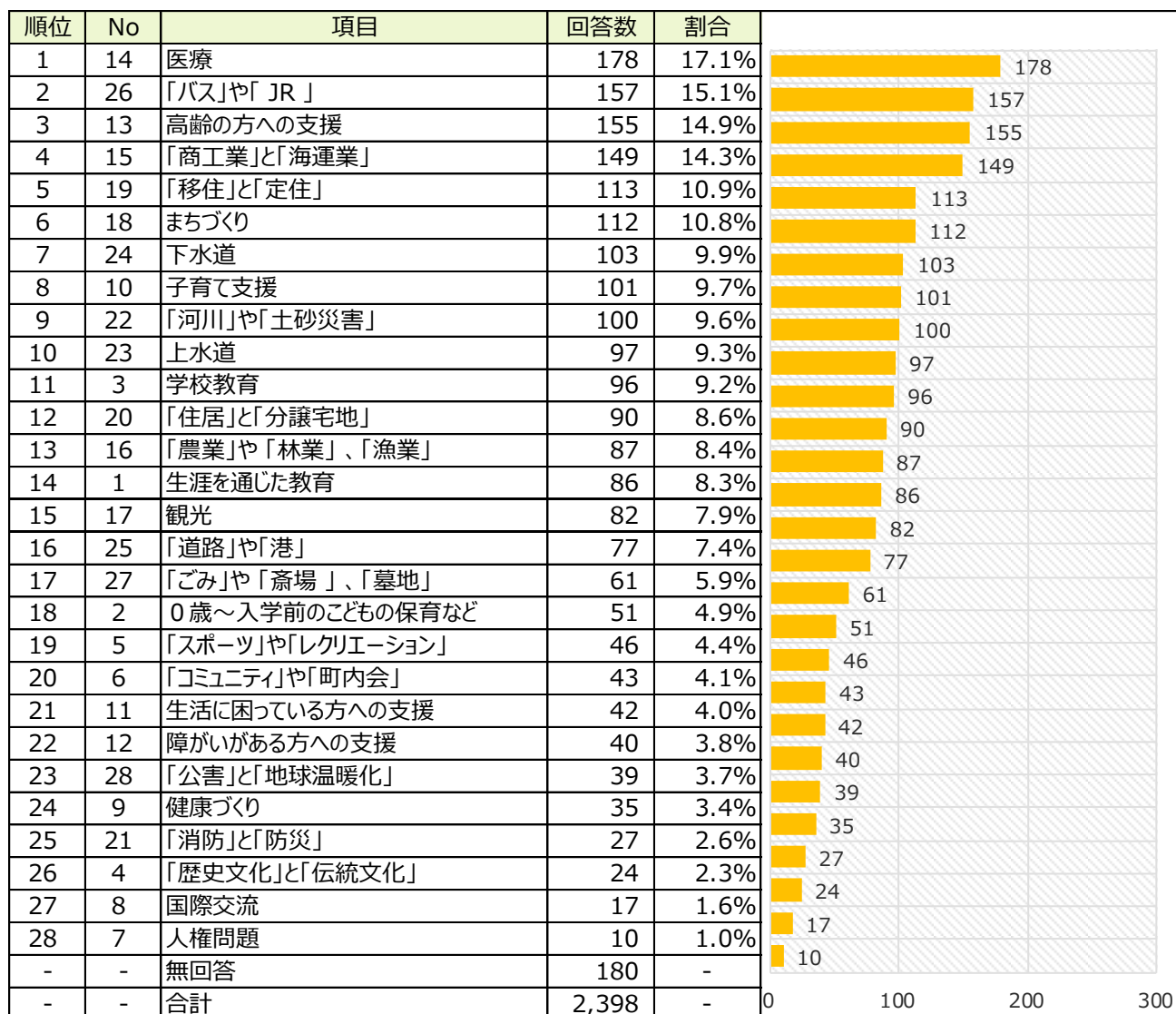
④ 備前市から引っ越したいと回答した方が評価している取組

備前市から引っ越したい（「市外へ引っ越したい」）と回答した方（n=150）も、備前市に住み続けたい方と同様に子育て支援に関する取組の評価が高くなっています。また、環境問題に関する取組の評価が高く、備前市に住み続けたい方の意見と異なります。

順位	No	項目	回答数	割合	
1	10	子育て支援	31	20.7%	 31
2	27	「ごみ」や「斎場」、「墓地」	16	10.7%	 16
3	23	上水道	13	8.7%	 13
3	28	「公害」と「地球温暖化」	13	8.7%	 13
5	14	医療	12	8.0%	 12

(3) 今後重点的に進めてほしい取組

「1～28 の番号のなかで②今後重点的に進めてほしいものを3つまで選んでください」の結果、「医療」が178件（17.1%）ともっとも今後重点的に進めてほしいと考えており、次いで、「バス」や「JR」157件（15.1%）、「高齢の方への支援」が155件（14.9%）となっています。



※割合は、有効回答数を分母として算出。

※無回答は、グラフ表示の対象外。

(4) 今後重点的に進めてほしい取組×備前市への愛着及び定住意向

「1～28の番号のなかで②今後重点的に進めてほしいものを3つまで選んでください」の結果について、「あなたは、「備前市」に愛着を持っていますか？」及び「あなたは、今の場所に住み続けたいと思いますか？それとも引っ越したいと思いますか？」の回答別に集計した結果は以下のとおりです（※それぞれ上位5の取組）。

① 備前市への愛着があると回答した方が重点的に進めてほしい取組

備前市への愛着がある（「愛着がある」または「やや愛着がある」）と回答した方（n=707）は、福祉・医療に関する取組を重点的に進めてほしいと考えています。

順位	No	項目	回答数	割合	
1	13	高齢の方への支援	119	16.8%	119
2	12	障がいがある方への支援	115	16.3%	115
3	14	医療	100	14.1%	100
4	25	「道路」や「港」	99	14.0%	99
5	17	観光	81	11.5%	81

② 備前市への愛着がないと回答した方が重点的に進めてほしい取組

備前市への愛着がない（「あまり愛着がない」または「愛着がない」）と回答した方（n=214）も、備前市への愛着がある方と同様、福祉・医療に関する取組を重点的に進めてほしいと考えています。

順位	No	項目	回答数	割合	
1	13	高齢の方への支援	45	21.0%	45
2	25	「道路」や「港」	41	19.2%	41
3	14	医療	36	16.8%	36
4	12	障がいがある方への支援	30	14.0%	30
5	18	まちづくり	28	13.1%	28

③ 備前市に住み続けたいと回答した方が重点的に進めてほしい取組

備前市に住み続けたい（「今の場所に住み続けたい」または「市内でよいところがあれば引っ越したい」）と回答した方（n=659）は、福祉・医療に関する取組を重点的に進めてほしいと考えています。

順位	No	項目	回答数	割合	
1	13	高齢の方への支援	110	16.7%	110
2	12	障がいがある方への支援	99	15.0%	99
3	14	医療	93	14.1%	93
4	25	「道路」や「港」	86	13.1%	86
5	18	まちづくり	75	11.4%	75

④ 備前市から引っ越したいと回答した方が重点的に進めてほしい取組

備前市から引っ越したい（「市外へ引っ越したい」）と回答した方（n=150）は、都市整備に関する取組を重点的に進めてほしいと考えています。

順位	No	項目	回答数	割合	
1	25	「道路」や「港」	34	22.7%	34
2	12	障がいがある方への支援	26	17.3%	26
3	13	高齢の方への支援	25	16.7%	25
4	9	健康づくり	24	16.0%	24
5	2	0歳～入学前のこどもの保育など	23	15.3%	23

(5) 具体的な取組の評価と重点

① 生涯を通じた教育

生涯を通じた教育の取組の中でもっとも評価の高い取組は「まなび塾」であり、次いで「図書館」となっています。また、今後重点的に進めてほしい取組は「図書館」となっています。

評価のその他意見は「地区公民館」、重点のその他意見は「図書館の充実（蔵書数など）」「勉強できる場所」などがありました。

評価すべき取組	①生涯を通じた教育	今後重点的に進めてほしい取組
27	A まなび塾	16
5	B 青少年健全育成	4
15	C 奨学金	10
17	D 図書館	65
10	E 中央・地域・地区公民館	11
4	- その他	6

② 0歳～入学前のこどもの保育など

0歳～入学前のこどもの保育などの取組の中でもっとも評価の高い取組は「保育料無償化」であり、次いで「保育園・こども園の運営」となっています。

また、今後重点的に進めてほしい取組は「保育園・こども園の運営」となっています。評価のその他意見は「わくわくルーム、プレーパーク」、重点のその他意見は「保育士の増員」「こども園の拡充」などがありました。

評価すべき取組	②0歳～入学前のこどもの保育など	今後重点的に進めてほしい取組
94	A 保育園・こども園の運営	26
187	B 保育料無償化	20
31	C 預かり保育	13
17	D 就学前支援	12
11	- その他	9

③ 学校教育

学校教育の取組の中でもっとも評価の高い取組は「小学校・中学校の管理」であり、次いで「ICT環境の充実」となっています。また、今後重点的に進めてほしい取組は「小学校・中学校の管理」となっています。評価のその他意見は「タブレット端末」「学校給食」、重点のその他意見は「小中学校の統廃合」「部活動の活性化」などがありました。

評価すべき取組	③学校教育	今後重点的に進めてほしい取組
34	A 小学校・中学校の管理	46
2	B 片上高等学校の管理	3
32	C ICT環境の充実	21
28	D 給食	12
4	E 学校規模適正化	29
28	F 外国語教育環境の充実(ALT全校配置)	28
11	G 読書環境の充実(学校図書館司書全校配置)	12
6	- その他	19

④ 「歴史文化」と「伝統文化」

「歴史文化」と「伝統文化」の取組の中でもっとも評価の高い取組は「日本遺産の活用・PR」であり、次いで「文化施設の活用・PR」となっています。また、今後重点的に進めてほしい取組は「文化施設の活用・PR」となっています。

評価のその他意見は「閑谷学校の整備」、重点のその他意見は「歴史と観光の紐づけ」「歴史を広める改革」などがありました。

評価すべき取組	④「歴史文化」と「伝統文化」	今後重点的に進めてほしい取組
11	A 文化施設の活用・PR	15
17	B 日本遺産の活用・PR	10
5	C 文化施設の整理・集約	8
5	D 世界遺産登録	0
2	- その他	3

⑤ 「スポーツ」や「レクリエーション」

「スポーツ」や「レクリエーション」の取組の中でもっとも評価の高い取組は「久々井」であり、次いで「日生」となっています。また、今後重点的に進めてほしい取組は「久々井」となっています。

評価のその他意見は「多世代の参加・交流」「外出促進」、重点のその他意見は「JRからのアクセスをよくする」などがありました。

評価すべき取組	⑤「スポーツ」や「レクリエーション」	今後重点的に進めてほしい取組
30	A 久々井	22
10	B 日生	11
5	C 吉永B&G	2
8	D スポーツ教室	19
6	E スポーツ大会	9
3	- その他	9

⑥ 「コミュニティ」や「町内会」

「コミュニティ」や「町内会」の取組の中でもっとも評価の高い取組は「地域おこし協力隊」であり、次いで「自治会」となっています。また、今後重点的に進めてほしい取組は「自治会」となっています。

評価のその他意見は「フリーマーケット」、重点のその他意見は「祭り・花火の復活」「老人会の利活用」「地域の活性化」などがありました。

評価すべき取組	⑥「コミュニティ」や「町内会」	今後重点的に進めてほしい取組
19	A 自治会	13
30	B 地域おこし協力隊	9
4	C ふるさとづくり事業	9
6	D まちづくり会議	11
3	E 地域担当職員	4
1	- その他	10

⑦ 人権問題

人権問題の取組の中でもっとも評価の高い取組は「人権啓発」であり、次いで「男女共同参画」となっています。また、今後重点的に進めてほしい取組は「人権啓発」となっています。

重点のその他意見は「中小企業の意識改革」などがありました。

評価すべき取組	⑦人権問題	今後重点的に進めてほしい取組
1	A 男女共同参画	3
2	B 人権啓発	5
0	C 隣保館	0
0	- その他	2

⑧ 国際交流

国際交流の取組の中でもっとも評価の高い取組は「国際交流（アメリカ、オーストラリア、韓国）」であり、次いで「市内滞在外国人との交流」となっています。また、今後重点的に進めてほしい取組は「国際交流（アメリカ、オーストラリア、韓国）」となっています。

重点のその他意見は「英会話教室の再開」などがありました。

評価すべき取組	⑧国際交流	今後重点的に進めてほしい取組
20	A 国際交流（アメリカ、オーストラリア、韓国）	10
2	B 市内滞在外国人との交流	7
0	C 外国人市民向け日本語教室	5
0	- その他	1

⑨ 健康づくり

健康づくりの取組の中でもっとも評価の高い取組は「成人保健・検診」であり、次いで「乳幼児健診」「Bポイント」となっています。また、今後重点的に進めてほしい取組は「成人保健・検診」となっています。

評価のその他意見は「地域包括支援センターを中心とした健康づくり活動」、重点のその他意見は「子どもと地域住民と一緒に食育」などがありました。

評価すべき取組	⑨健康づくり	今後重点的に進めてほしい取組
29	A 乳幼児健診	3
13	B 母子保健	1
73	C 成人保健・検診	20
8	D 精神障がい者支援	5
13	E 食育	7
29	F Bポイント	6
7	- その他	2

⑩ 子育て支援

子育て支援の取組の中でもっとも評価の高い取組は「子ども医療費」であり、次いで「放課後児童クラブ」となっています。また、今後重点的に進めてほしい取組は「育児支援」となっています。

評価のその他意見は「助成制度の充実」「備前プレーパーク」、重点のその他意見は「親の教育、心のケア」「中高生の居場所づくり」などがありました。

評価すべき取組	⑩子育て支援	今後重点的に進めてほしい取組
239	A 子ども医療費	33
53	B 放課後児童クラブ	24
10	C 病児保育	14
27	D 育児支援	40
6	E 児童虐待防止	13
15	F 居場所づくり	17
16	- その他	11

⑪ 生活に困っている方への支援

生活に困っている方への支援の取組である「生活相談」「就労支援」「相談体制」の評価は一律となっています。また、今後重点的に進めてほしい取組は「生活相談」「就労支援」となっています。

重点のその他意見は「企業誘致の推進」「経済的な支援」などがありました。

評価すべき取組	⑪生活に困っている方への支援	今後重点的に進めてほしい取組
5	A 生活相談	19
5	B 就労支援	19
5	C 相談体制	16
0	- その他	5

⑫ 障がいがある方への支援

障がいがある方への支援の取組の中でもっとも評価の高い取組は「医療費補助」であり、次いで「障がい者自立支援」となっています。また、今後重点的に進めてほしい取組は「発達障がい者支援」となっています。













重点のその他意見は「経済的な支援」などがありました。

評価すべき取組	⑫障がいがある方への支援	今後重点的に進めてほしい取組
6	A 障がい者自立支援	15
4	B 発達障がい者支援	18
3	C 就労支援	17
17	D 医療費補助	14
1	- その他	2

⑬ 高齢の方への支援

高齢の方への支援の取組の中でもっとも評価の高い取組は「地域包括支援センター」であり、次いで「介護保険」となっています。また、今後重点的に進めてほしい取組は「日常生活支援」となっています。











評価のその他意見は「介護相談の充実」「地域での支援」、重点のその他意見は「買い物や通院等の移動手段の充実」「参加しやすい活動の場の充実」などがありました。

評価すべき取組	⑬高齢の方への支援	今後重点的に進めてほしい取組
33 	A 介護保険	 69
17 	B 日常生活支援	 70
11 	C 老人クラブ支援	 9
34 	D 地域包括支援センター	 29
19 	E 介護予防	 33
7 	- その他	 15

⑭ 医療

医療の取組の中でもっとも評価の高い取組は「吉永病院」であり、次いで「備前病院」となっています。また、今後重点的に進めてほしい取組は「備前病院」となっています。













評価のその他意見は「建物が新しい」「設備の充実」「新型コロナウイルス感染症のワクチン接種対応」、重点のその他意見は「各地域の病院の統廃合」などがありました。

評価すべき取組	⑭医療	今後重点的に進めてほしい取組
45 	A 備前病院	 104
16 	B 日生病院	 46
65 	C 吉永病院	 29
12 	D 備前さつき苑	 12
12 	- その他	 38

⑮ 「商工業」と「海運業」

「商工業」と「海運業」の取組の中でもっとも評価の高い取組は「商工会議所・商工会支援」となっています。また、今後重点的に進めてほしい取組は「企業誘致」となっています。

重点のその他意見は「若者が働く場の確保」「商業施設の充実」「地理的特徴を活かした企業誘致」などがありました。

評価すべき取組	⑮「商工業」と「海運業」	今後重点的に進めてほしい取組
2 	A 企業誘致	 122
2 	B 企業団地造成	 37
1 	C 企業支援	 36
5 	D 商工会議所・商工会支援	 15
2 	E 海運業支援	 6
1 	- その他	 19

⑩ 「農業」や「林業」、「漁業」

「農業」や「林業」、「漁業」の取組の中でもっとも評価の高い取組は「里海里山のまちづくり」であり、次いで「漁港の整備」となっています。また、今後重点的に進めてほしい取組は「有害鳥獣対策」となっています。

評価のその他意見は「アマモ場再生の取組」、重点のその他意見は「休耕地の有効活用」「農地バンクの活用促進」などがありました。

評価すべき取組	⑩「農業」や「林業」、「漁業」	今後重点的に進めてほしい取組
3	A 農道、水路	12
3	B 有害鳥獣対策	48
4	C 漁港の整備	3
9	D 里海里山のまちづくり	12
1	E 担い手の確保・育成	41
3	- その他	10

⑪ 観光

観光の取組の中でもっとも評価の高い取組は「備前焼振興」であり、次いで「観光推進」となっています。また、今後重点的に進めてほしい取組は「観光推進」となっています。

評価のその他意見は「観光、五味の市、備前焼まつり、真魚市等」「備前焼」、重点のその他意見は「たくさんの観光資源（特に自然）を活かす取組」などがありました。

評価すべき取組	⑪観光	今後重点的に進めてほしい取組
14	A 観光推進	53
4	B 情報発信	26
20	C 備前焼振興	19
3	D 観光ボランティア	4
0	E 外国人観光客の誘客	16
3	- その他	4

⑫ まちづくり

まちづくりの取組の中でもっとも評価の高い取組は「市営駐車場」であり、次いで「都市計画」となっています。また、今後重点的に進めてほしい取組は「都市計画」となっています。













重点のその他意見は「土地の有効活用」「日生駐車場の無断駐車対策」などがありました。

評価すべき取組	⑫まちづくり	今後重点的に進めてほしい取組
14	A 市営駐車場	24
5	B 都市計画	59
1	C 区画整理事業	11
3	D 都市公園	37
1	- その他	11

⑱ 「移住」と「定住」

「移住」と「定住」の取組の中でもっとも評価の高い取組は「若年者新築補助」であり、次いで「リフォーム補助」となっています。また、今後重点的に進めてほしい取組は「若年者新築補助」となっています。











評価のその他意見は「移住者募集イベント」、重点のその他意見は「空き家あっせん」「若年層だけでなくリタイアした世代の移住促進」などがありました。

評価すべき取組	⑱「移住」と「定住」	今後重点的に進めてほしい取組
39 	A 若年者新築補助	 45
16 	B 若年者家賃補助	 33
29 	C リフォーム補助	 41
9 	D 空き家バンク	 44
1 	E 赤穂上郡定住自立圏	 6
6 	- その他	 13

⑳ 「住居」と「分譲宅地」













「住居」と「分譲宅地」の取組の中でもっとも評価の高い取組は「市営住宅」「老朽空き家対策」となっています。また、今後重点的に進めてほしい取組は「老朽空き家対策」となっています。

評価のその他意見は「古民家ブームの活用」、重点のその他意見は「農地転用」「危険家屋撤去」「市営住宅の耐震化」などがありました。

評価すべき取組	⑳「住居」と「分譲宅地」	今後重点的に進めてほしい取組
5 	A 市営住宅	 20
2 	B 分譲宅地造成	 17
2 	C 木造住宅の耐震化	 10
5 	D 老朽空き家対策	 59
2 	- その他	 11

㉑ 「消防」と「防災」

「消防」と「防災」の取組の中でもっとも評価の高い取組は「東備消防」であり、次いで「消防団」となっています。また、今後重点的に進めてほしい取組は「災害時の要援護者対策」となっています。

評価すべき取組	㉑「消防」と「防災」	今後重点的に進めてほしい取組
44 	A 東備消防	 7
25 	B 消防団	 4
21 	C 防災行政無線	 6
12 	D 自主防災組織	 10
5 	E 災害時の要援護者対策	 12
2 	- その他	 1

② 「河川」や「土砂災害」

「河川」や「土砂災害」の取組の中でもっとも評価の高い取組は「河川維持管理・改修」であり、次いで「ため池維持管理・改修」となっています。また、今後重点的に進めてほしい取組は「河川維持管理・改修」となっています。重点のその他意見は「川底の整備」「木々の伐採」「金剛川の整備（土砂撤去など）」などがありました。

評価すべき取組	②「河川」や「土砂災害」	今後重点的に進めてほしい取組
8	A 河川維持管理・改修	65
6	B ため池維持管理・改修	25
0	C 急傾斜地等の整備促進	36
0	- その他	13

③ 上水道

上水道の取組の中でもっとも評価の高い取組は「水の安定供給」であり、次いで「安全でおいしい水」となっています。また、今後重点的に進めてほしい取組は「水道料金」となっています。

重点のその他意見は「水道料金の見直し」「水道管の老朽化対策」などがありました。

評価すべき取組	③上水道	今後重点的に進めてほしい取組
21	A 水道料金	67
53	B 水の安定供給	10
48	C 安全でおいしい水	31
0	- その他	11

④ 下水道

下水道の取組の中でもっとも評価の高い取組は「下水道整備」であり、次いで「下水道料金」となっています。また、今後重点的に進めてほしい取組は「下水道料金」となっています。

重点のその他意見は「下水道料金の見直し」「雨水対策」「下水道への未接続解消」などがありました。

評価すべき取組	④下水道	今後重点的に進めてほしい取組
6	A 下水道料金	66
5	B 合併浄化槽	7
39	C 下水道整備	25
3	D 雨水対策	5
2	- その他	19

㉕ 「道路」や「港」

「道路」や「港」の取組の中でもっとも評価の高い取組は「市道維持管理」であり、次いで「高潮対策」となっています。また、今後重点的に進めてほしい取組は「市道維持管理」となっています。

重点のその他意見は「田舎の道路整備」「生活道路の整備」「渋滞対策（2号線の混雑緩和）」などがありました。

評価すべき取組	㉕「道路」や「港」	今後重点的に進めてほしい取組
9	A 市道維持管理	44
3	B 道路環境安全対策	22
5	C 高潮対策	19
0	D 市管理港湾維持管理	1
0	E プレジャーボート係留施設	2
0	- その他	10

㉖ 「バス」や「JR」

「バス」や「JR」の取組の中でもっとも評価の高い取組は「市営バス」であり、次いで「生活交通チケット」となっています。また、今後重点的に進めてほしい取組は「JR」となっています。

評価のその他意見は「市営バスを使用した学童の送迎」「買い物や通院時の市営バス」、重点のその他意見は「バスとJRの連結」「市営バスの増便」などがありました。

評価すべき取組	㉖「バス」や「JR」	今後重点的に進めてほしい取組
72	A 市営バス	64
8	B JR	72
3	C 離島航路	1
26	D 生活交通チケット	21
9	E 民間路線バス	26
5	- その他	24

㉗ 「ごみ」や「斎場」、「墓地」

「ごみ」や「斎場」、「墓地」の取組の中でもっとも評価の高い取組は「ごみ収集」であり、次いで「リサイクル」となっています。また、今後重点的に進めてほしい取組は「リサイクル」となっています。

評価のその他意見は「粗大ごみ戸別収集」「ごみステーションや管理の充実」、重点のその他意見は「最終処分場の早期稼働」「資源ごみ、缶、埋め立ての常備回収場所の設置」などがありました。

評価すべき取組	㉗「ごみ」や「斎場」、「墓地」	今後重点的に進めてほしい取組
108	A ごみ収集	27
54	B リサイクル	31
8	C 斎場	8
3	D 市営墓地	4
7	- その他	16

⑳ 「公害」と「地球温暖化」

「公害」と「地球温暖化」の取組の中でもっとも評価の高い取組は「大気汚染」となっています。また、今後重点的に進めてほしい取組は「地球温暖化対策」となっています。

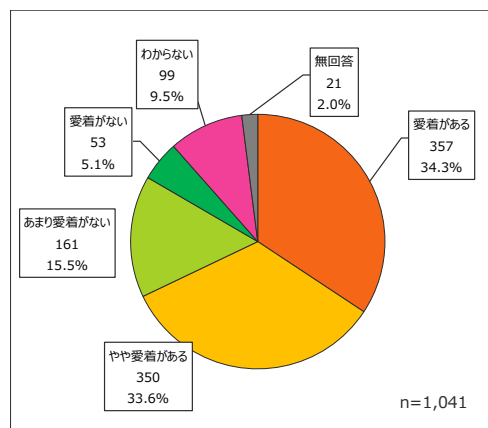
重点のその他意見は「電気自動車、風力・水力発電の推進」「河川管理改修・整備」などがありました。

評価すべき取組	⑳「公害」と「地球温暖化」	今後重点的に進めてほしい取組
7	A 大気汚染	13
0	B 水質汚染	7
1	C 地球温暖化対策	20
1	D 環境意識啓発活動	12
1	- その他	6

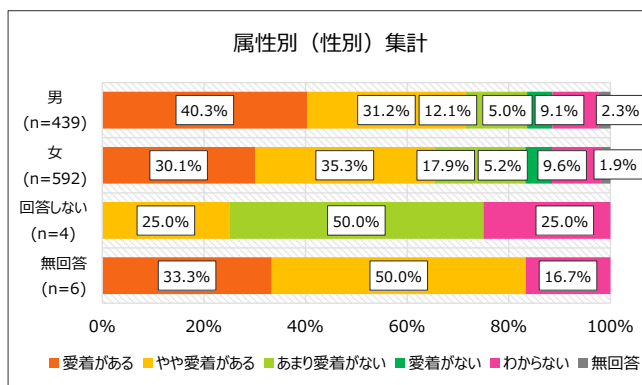
3.まちの評価

(1) 備前市への愛着

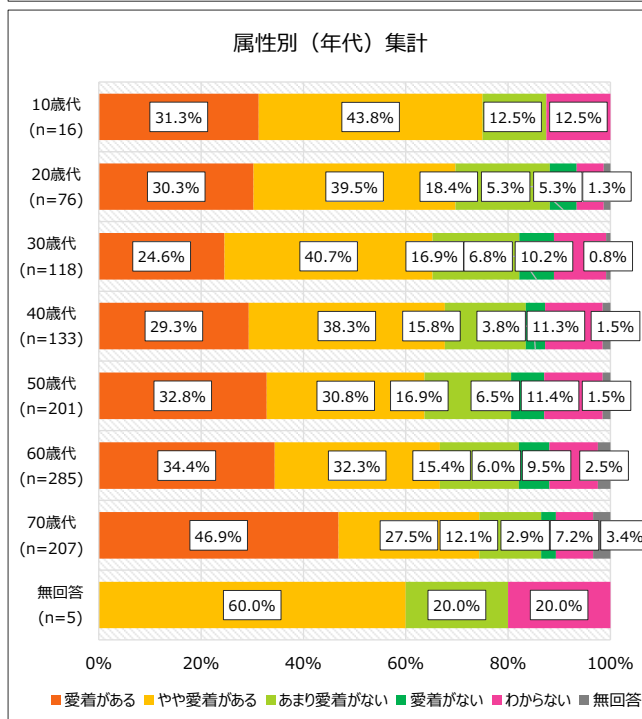
「あなたは、「備前市」に愛着を持っていますか？」の結果、「備前市に愛着がある（「愛着がある」「やや愛着がある」の合計）」が707件であり、全体の67.9%となっています。



属性別（性別）集計結果を見ると、「愛着がある（「愛着がある」「やや愛着がある」の合計）」と回答した割合は、女性より男性の方がやや高くなっています。

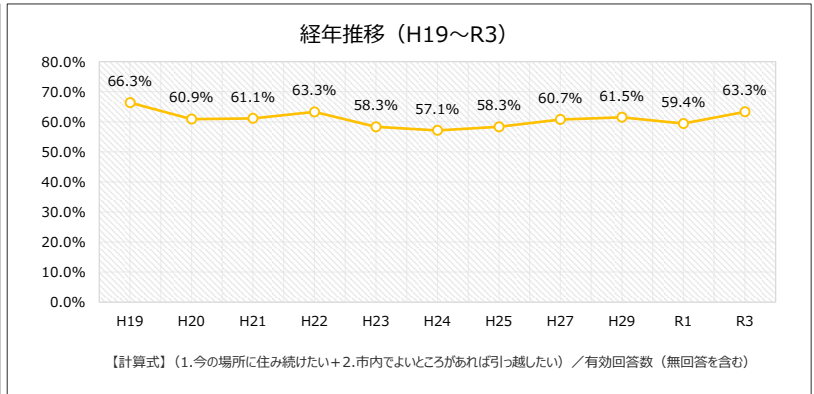
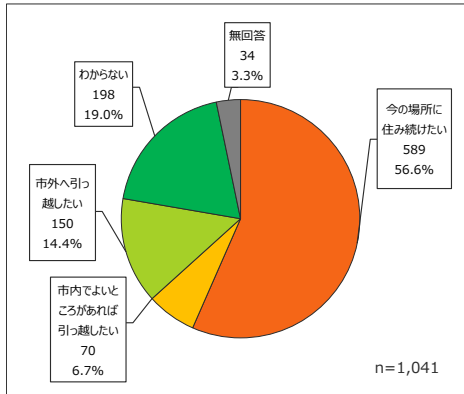


属性別（年代）集計結果を見ると、「愛着がある（「愛着がある」「やや愛着がある」の合計）」と回答した割合は、すべての年代で6割以上となっています。特に、10歳代と70歳代で「愛着がある（「愛着がある」「やや愛着がある」の合計）」と回答した割合が高くなっています。

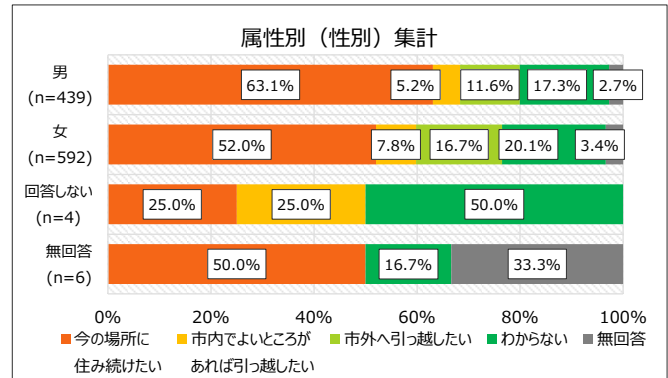


(2) 定住意向

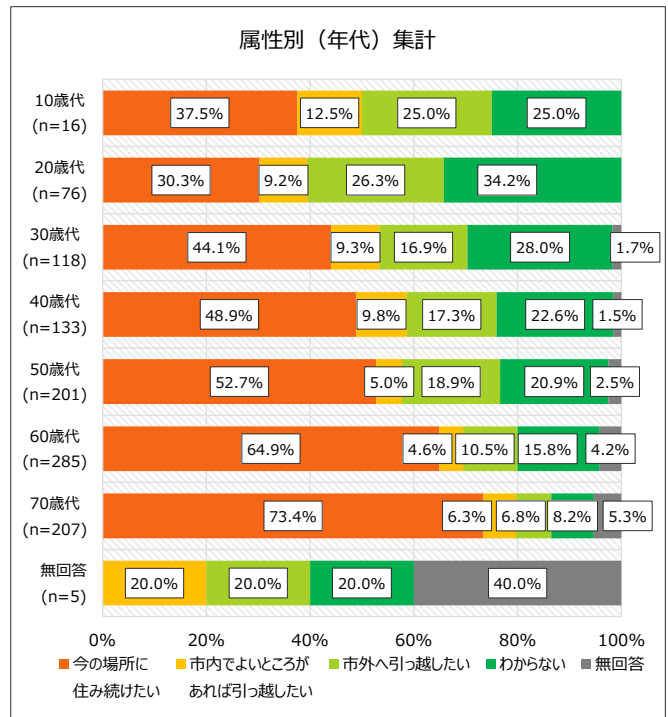
「あなたは、今の場所に住み続けたいと思いますか？それとも引っ越したいと思いますか？」の結果、「備前市に住み続けたい（「今の場所に住み続けたい」「市内でよいところがあれば引っ越したい」の合計）」が659件であり、全体の63.3%となっています。また、経年推移（H19～R3）を見ると、60%前後で推移しており、R3は前回調査より3.9%高くなっています。



属性別（性別）集計結果を見ると、「備前市に住み続けたい（「今の場所に住み続けたい」「市内でよいところがあれば引っ越したい」の合計）」と回答した割合は、女性より男性の方がやや高くなっています。

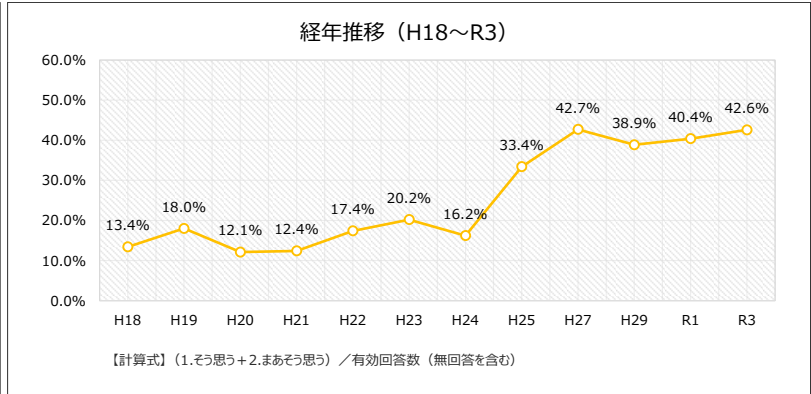
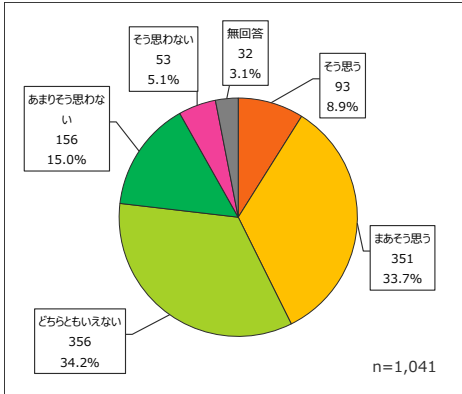


属性別（年代）集計結果を見ると、「備前市に住み続けたい（「今の場所に住み続けたい」「市内でよいところがあれば引っ越したい」の合計）」と回答した割合は、70歳代が他の年代と比べてとっとも高くなっています。

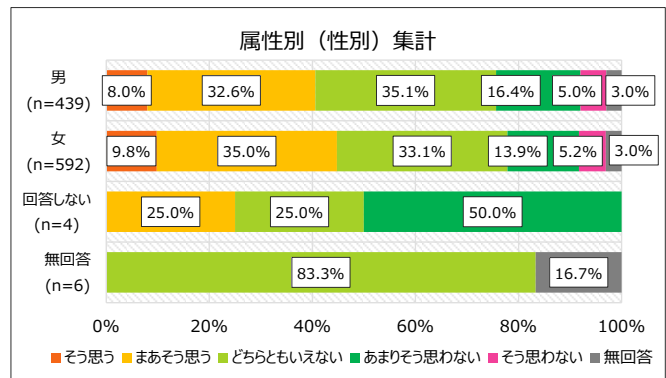


(3) 子育て環境

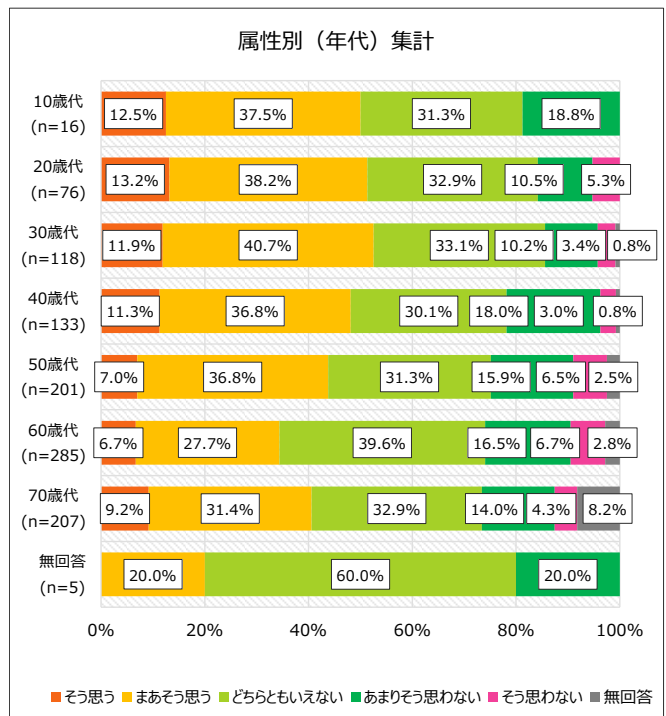
「あなたは、「備前市は安心して子どもを産み育てることができるまち」だと思いますか？」の結果、「備前市は安心して子どもを産み育てることができるまち（「そう思う」「まあそう思う」の合計）」と回答した方が444件であり、全体の42.6%となっています。また、経年推移（H18～R3）を見ると、H27以降は横ばいで推移しており、R3は前回調査より2.2%高くなっています。



属性別（性別）集計結果を見ると、「備前市は安心して子どもを産み育てることができるまち（「そう思う」「まあそう思う」の合計）」と回答した割合は男性より女性の方がやや高くなっています。

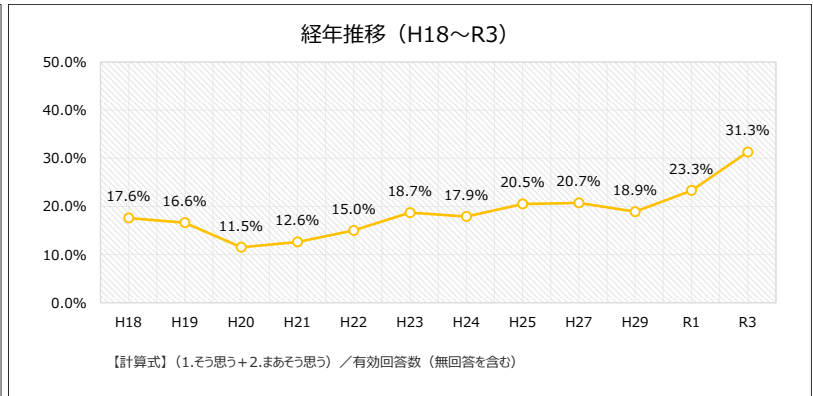
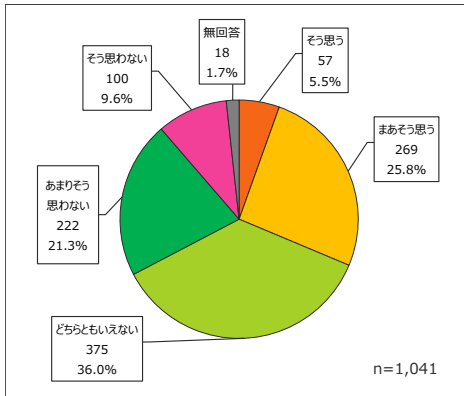


属性別（年代）集計結果を見ると、「備前市は安心して子どもを産み育てることができるまち（「そう思う」「まあそう思う」の合計）」と回答した割合はすべての年代で約3～5割となっています。特に60歳代で「備前市は安心して子どもを産み育てることができるまちだと思っている（「そう思う」「まあそう思う」の合計）」と回答した割合が低くなっています。

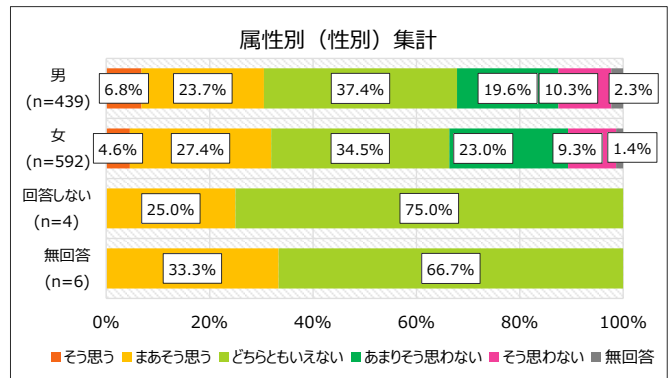


(4) 高齢者福祉

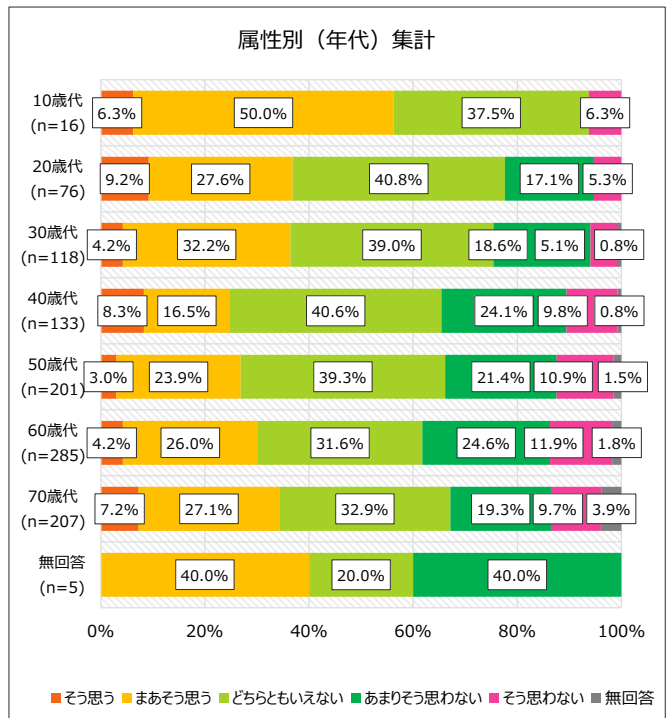
「あなたは、「備前市は高齢者が安心して生活できるまち」だと思いますか？」の結果、「備前市は高齢者が安心して生活できるまち（「そう思う」「まあそう思う」の合計）」と回答した方は326件であり、全体の31.3%となっています。また、経年推移（H18～R3）を見ると、H20以降は緩やかな右肩上がり推移しており、R3は前回調査より8.0%高くなっています。



属性別（性別）集計結果を見ると、「備前市は高齢者が安心して生活できるまち（「そう思う」「まあそう思う」の合計）」と回答した割合は性別による差はなく同程度の割合となっています。



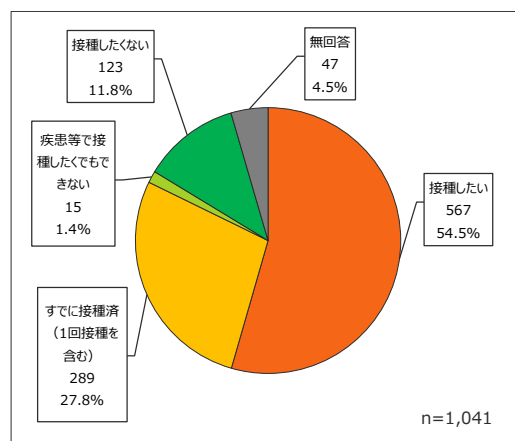
属性別（年代）集計結果を見ると、「備前市は高齢者が安心して生活できるまち（「そう思う」「まあそう思う」の合計）」と回答した割合は10歳代が他の年代と比べてもっとも高くなっています。また、10歳代以外の年代は同程度の割合となっています。



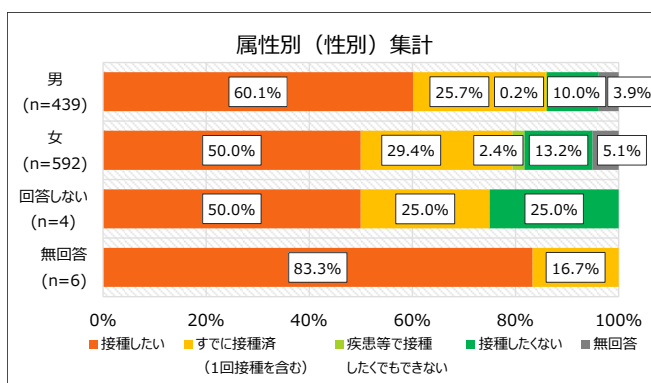
4.新型コロナウイルス感染症

(1) 新型コロナウイルスワクチン接種

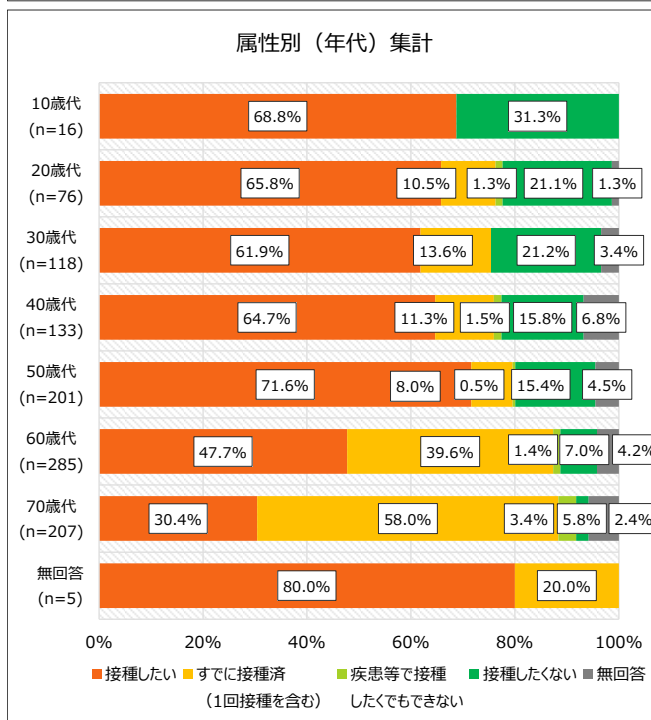
「新型コロナウイルスワクチン接種については国民の努力義務として全国で実施されています。ワクチン接種について、あなたのお気持ちをお聞かせください。」の結果、「接種したい」が567件であり、全体の54.5%となっています。また、「すでに接種済（1回接種を含む）」が289件であり、全体の27.8%となっており、「接種したい」と「すでに接種済（1回接種を含む）」と合わせると約8割となっています。



属性別（性別）集計結果を見ると、「接種したい」と「すでに接種済（1回接種を含む）」の割合は、女性より男性の方が高くなっています。

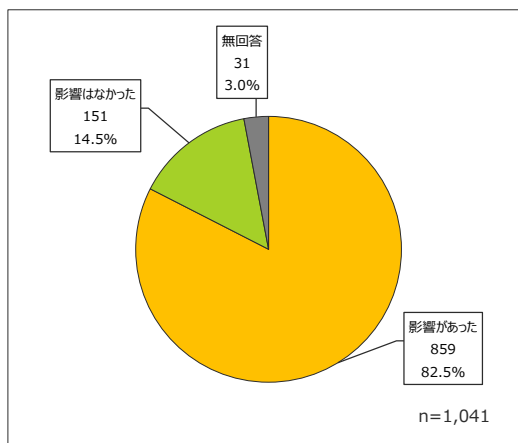


属性別（年代）集計結果を見ると、「接種したい」と「すでに接種済（1回接種を含む）」の割合は、年代が上がるにつれて高くなっています。

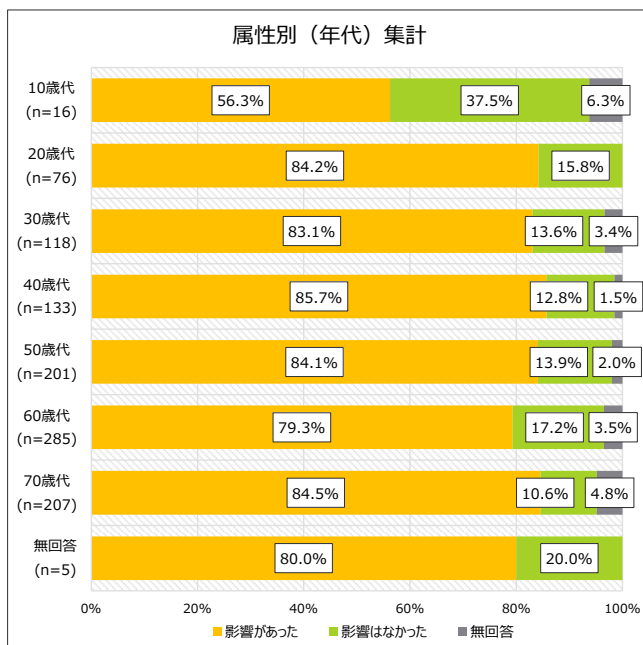


(2) 新型コロナウイルスの影響

「コロナ禍以前と比べて、生活や心身にどのような変化がありましたか？」の結果、影響があった（「感染への不安でストレスを感じる」「家族と過ごす時間が長くなりストレスを感じる」「親族や知人と会う機会が減り、孤独を感じる」「収入が減って家計が苦しくなった」「食生活が乱れた」「運動不足になった（体力が落ちた）」「その他」）と回答した方は 859 件であり、全体の 82.5%となっています。

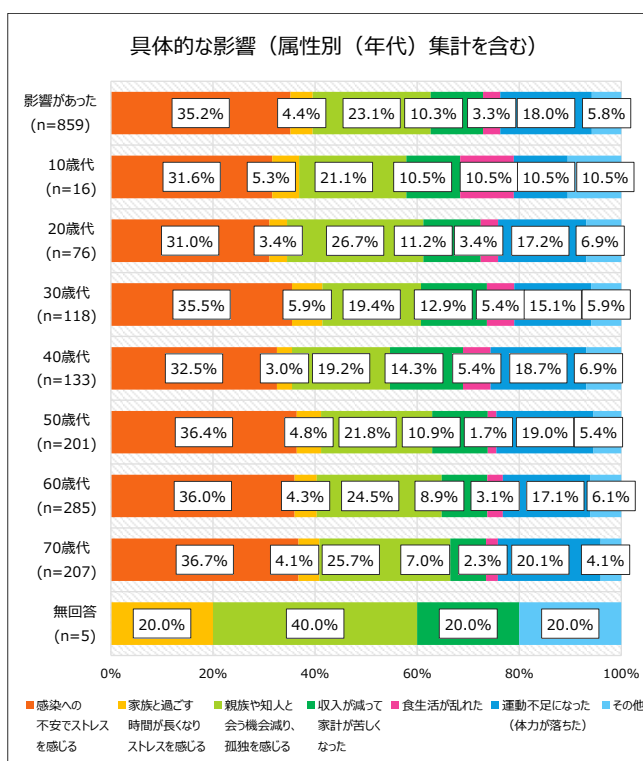


属性別（年代）集計結果を見ると、20 歳代から 70 歳代の年代で影響があったが 79%を上回っています。



影響があった（「感染への不安でストレスを感じる」「家族と過ごす時間が長くなりストレスを感じる」「親族や知人と会う機会が減り、孤独を感じる」「収入が減って家計が苦しくなった」「食生活が乱れた」「運動不足になった（体力が落ちた）」「その他」）と回答した方（n=859）のうち、具体的な影響は「感染への不安でストレスを感じる」が 35.2%となっています。

属性別（年代）集計結果を見ると、「感染への不安でストレスを感じる」と回答した割合がすべての年代で 31%を上回っています。

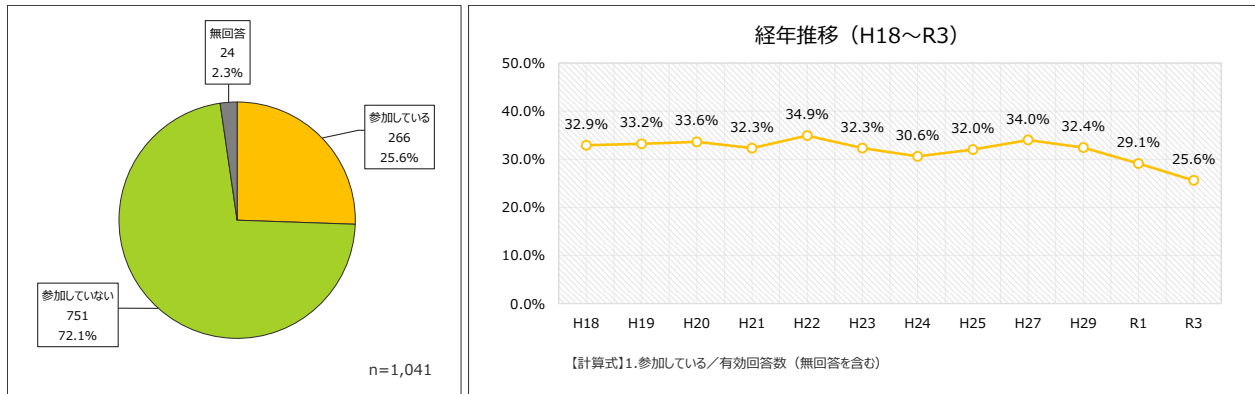


※割合は、総回答数を分母として算出。

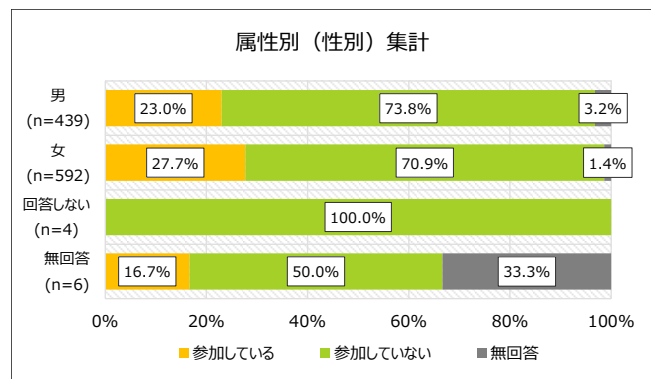
5. 普段の生活

(1) 自発的な学習への取組

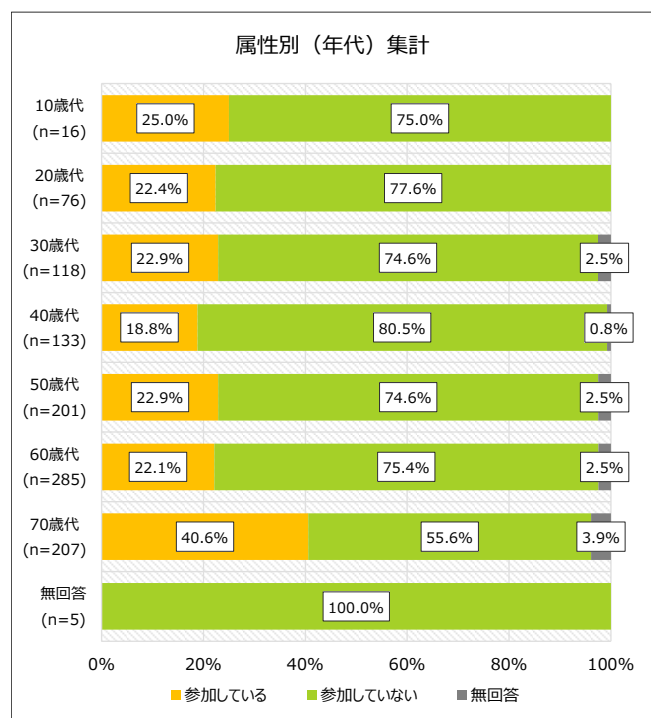
「あなたは、自発的な学習に取り組んだり、趣味の会やグループ活動に参加していますか？」の結果、自発的な学習や趣味の会やグループ活動に「参加している」が266件であり、全体の25.6%となっています。また、経年推移（H18～R3）を見ると、30%前後で推移しており、R3は前回調査より3.5%低くなっています。



属性別（性別）集計結果を見ると、自発的な学習や趣味の会やグループ活動に「参加している」と回答した割合は、男性より女性の方がやや高くなっています。

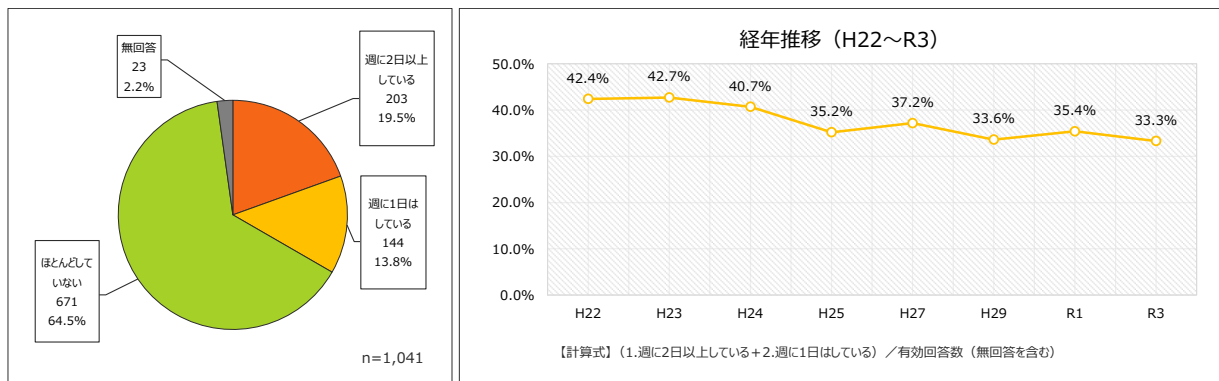


属性別（年代）集計結果を見ると、自発的な学習や趣味の会やグループ活動に「参加している」と回答した割合は、70歳代が他の年代より高くなっています。

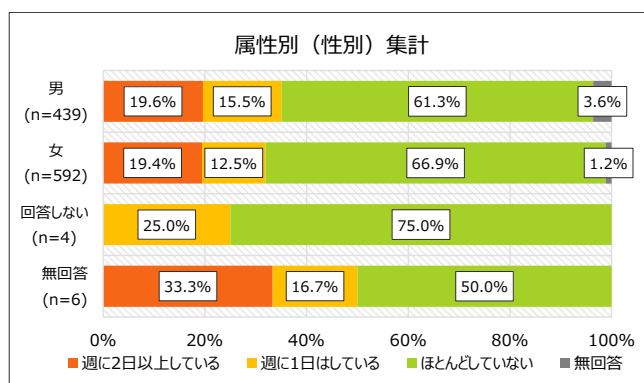


(2) スポーツ（運動）への取組

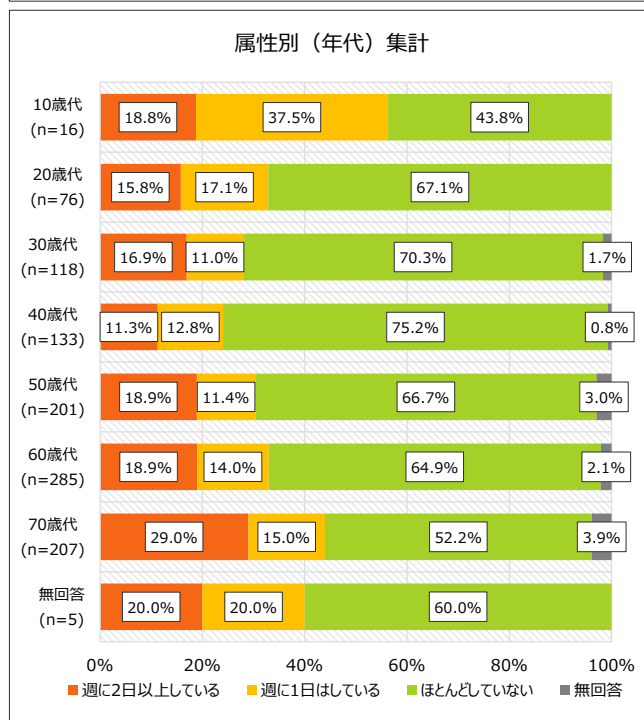
「あなたは、スポーツ（運動）を定期的に行っていますか？」の結果、「スポーツ（運動）を定期的に行っている（「週に2日以上している」「週に1日はしている」の合計）」が347件であり、全体の33.3%となっています。また、経年推移（H22～R3）を見ると、40%前後で推移しています。



属性別（性別）集計結果を見ると、「スポーツ（運動）を定期的に行っている（「週に2日以上している」「週に1日はしている」の合計）」と回答した割合は女性より男性の方がやや高くなっています。

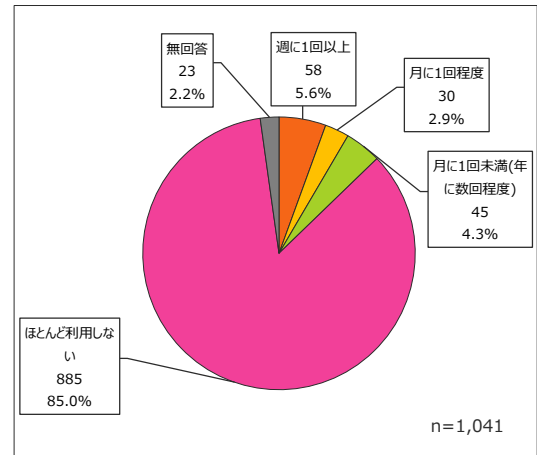


属性別（年代）集計結果を見ると、「スポーツ（運動）を定期的に行っている（「週に2日以上している」「週に1日はしている」の合計）」は10歳代と70歳代が他の年代と比べて高くなっています。また、40歳代が他の年代と比べて低くなっています。

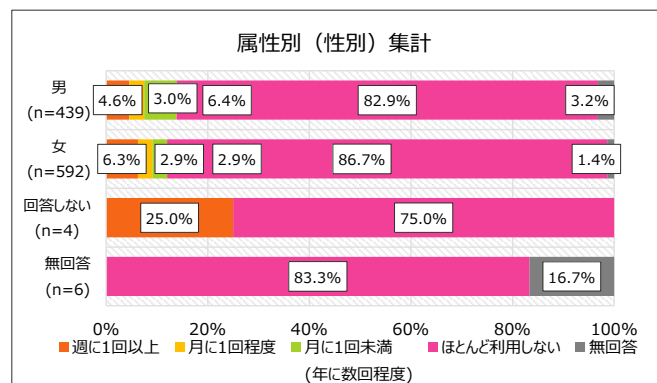


(3) 市内の体育施設の利用頻度

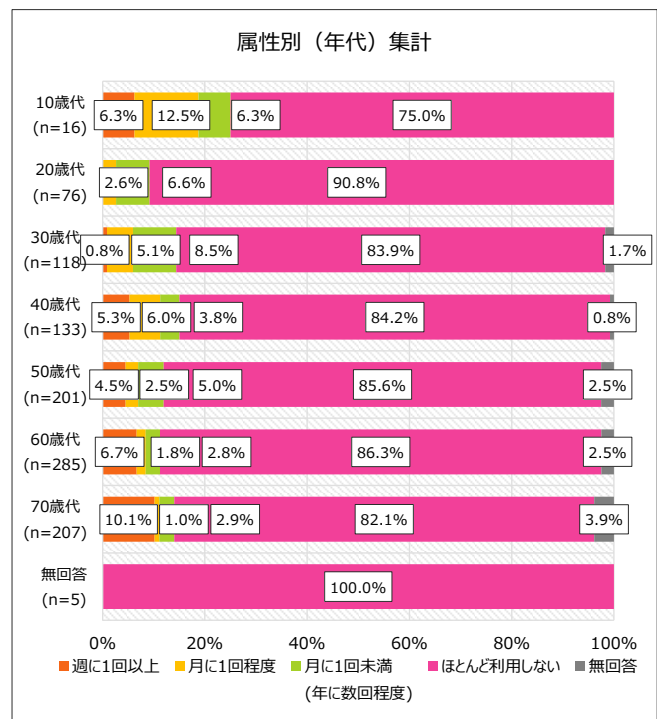
「あなたは、市内の体育施設をどのくらいの頻度で利用しますか？」の結果、市内の体育施設を「ほとんど利用しない」が885件であり、全体の85.0%となっています。



属性別（性別）集計結果を見ると、市内の体育施設を「ほとんど利用しない」と回答した割合は男性より女性の方が高くなっています。

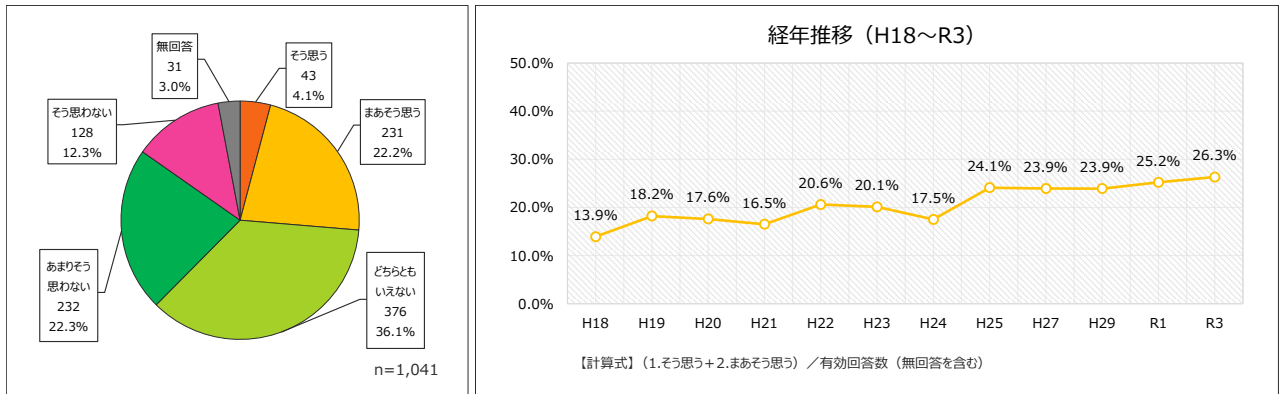


属性別（年代）集計結果を見ると、すべての年代で市内の体育施設を「ほとんど利用しない」が75%以上となっています。

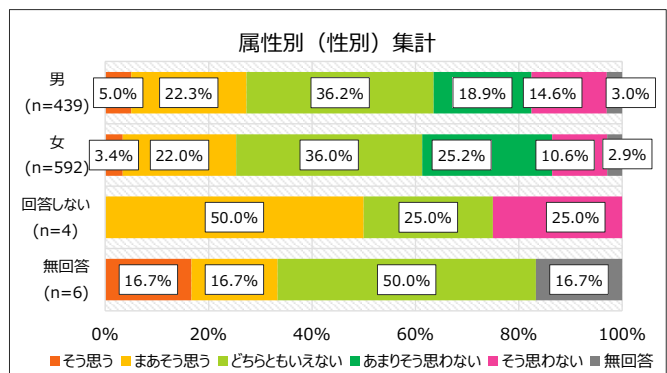


(4) 男女の対等な活躍の状況

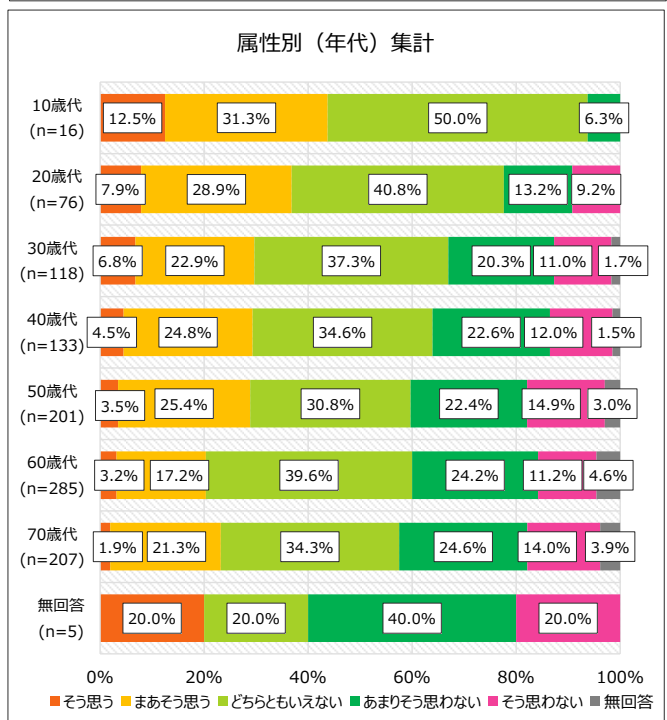
「あなたは、「地域や職場で男女が対等に活躍できている」と思いますか？」の結果、「地域や職場で男女が対等に活躍できていると思う（「そう思う」「まあそう思う」の合計）」は 274 件であり、全体の 26.3%となっています。また、経年推移（H18～R3）を見ると、H25 以降は 25%前後で推移しており、R3 は前回調査より 1.1%高くなっています。



属性別（性別）集計結果を見ると、「地域や職場で男女が対等に活躍できていると思う（「そう思う」「まあそう思う」の合計）」と回答した割合は性別による差はなく同程度の割合となっています。

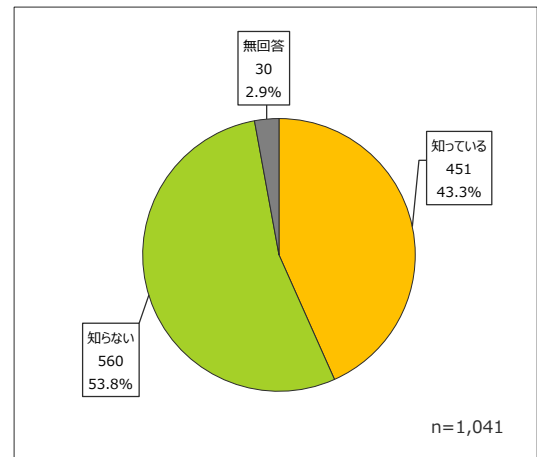


属性別（年代）集計結果を見ると、「地域や職場で男女が対等に活躍できていると思う（「そう思う」「まあそう思う」の合計）」と回答した割合は 10 歳代と 20 歳代が他の年代と比べて高くなっています。

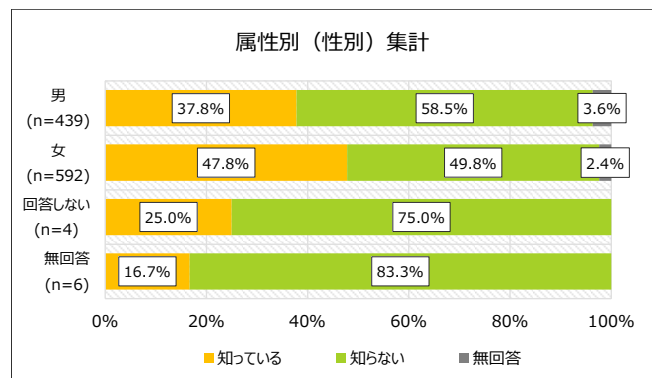


(5) 暴力（DV）に関する相談窓口の認知度

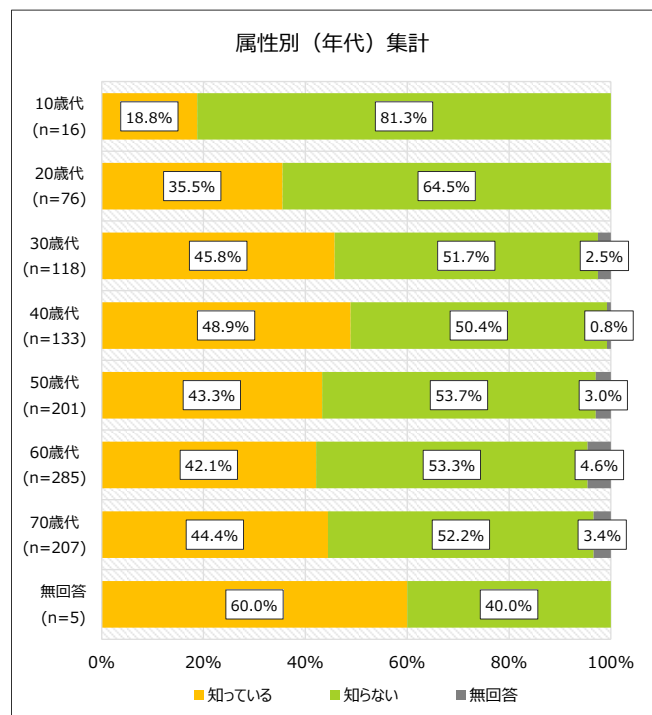
「あなたは、配偶者からの暴力（DV）に関する相談窓口の存在を知っていますか？」の結果、配偶者からの暴力（DV）に関する相談窓口の存在を「知らない」が 560 件であり、全体の 53.8%となっています。



属性別（性別）集計結果を見ると、配偶者からの暴力（DV）に関する相談窓口の存在を「知らない」と回答した割合は女性より男性の方が高くなっています。

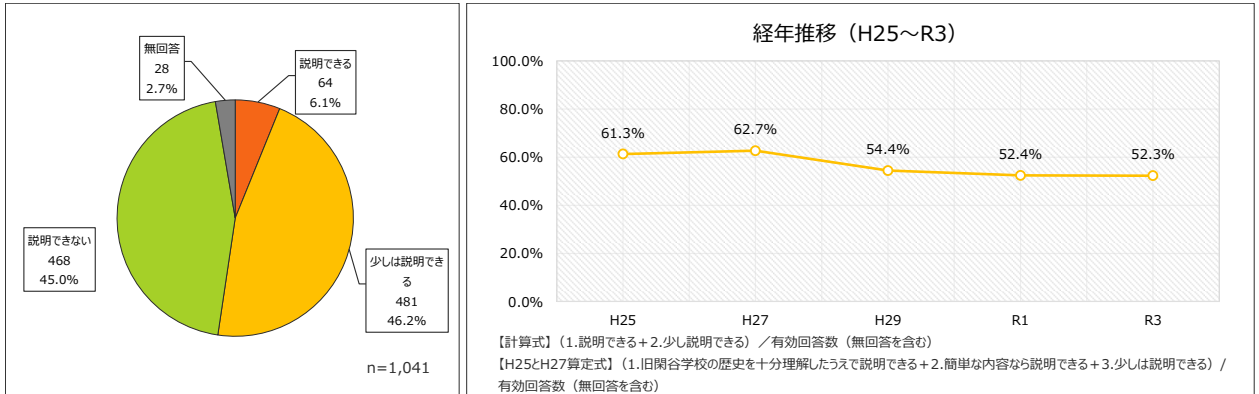


属性別（年代）集計結果を見ると、配偶者からの暴力（DV）に関する相談窓口の存在を「知らない」と回答した割合は 20 歳代以上で 50~60% 程度となっています。特に、10 歳代が他の年代と比べて高くなっています。



(6) 旧閑谷学校の理解度

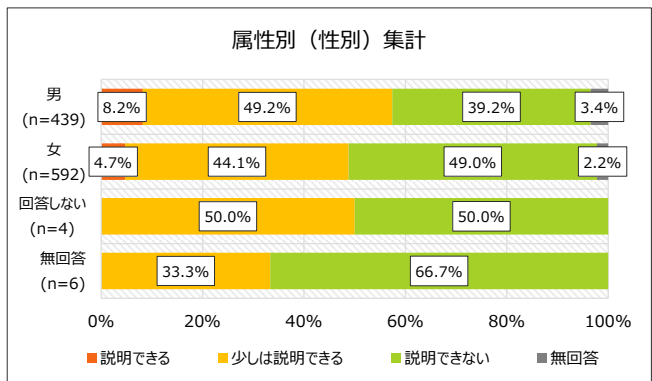
「あなたは、旧閑谷学校のことを来訪者に説明できますか？」の結果、旧閑谷学校のことを来訪者に「説明できる（「説明できる」「少しは説明できる」の合計）」が 545 件であり、全体の 52.3%となっています。また、経年推移（H25～R3）を見ると、H29 以降同程度で推移しています。



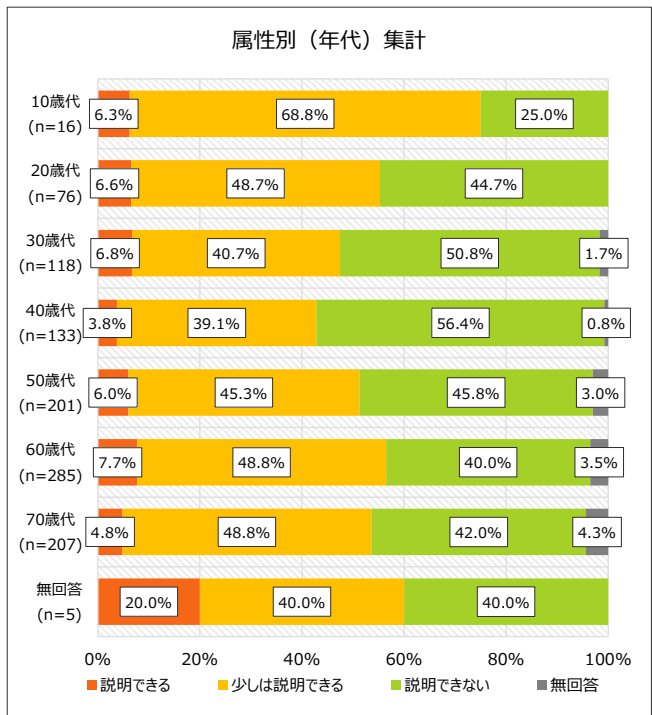
※ H25とH27は「1.閑谷学校の歴史を十分に理解したうえで説明できる」「2.簡単な内容なら説明できる」「3.少しは説明できる」「4.説明できない」の4つの選択肢を設定。

※ H29、R1及びR3は「1.説明できる」「2.少しは説明できる」「3.説明できない」の3つの選択肢を設定。

属性別（性別）集計結果を見ると、旧閑谷学校のことを来訪者に「説明できる（「説明できる」「少しは説明できる」の合計）」と回答した割合は女性より男性の方が高くなっています。

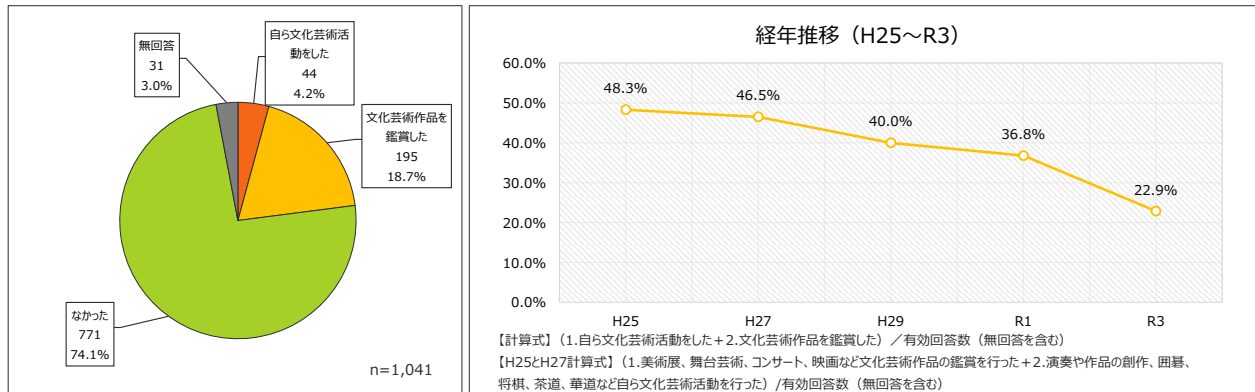


属性別（年代）集計結果を見ると、旧閑谷学校のことを来訪者に「説明できる（「説明できる」「少しは説明できる」の合計）」は10歳代が他の年代と比べて高くなっています。



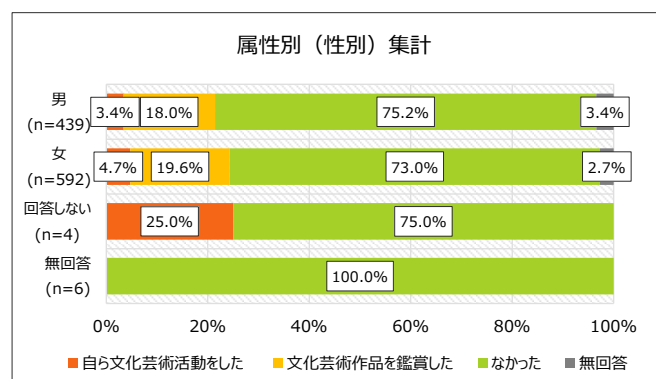
(7) 芸術・文化に触れる機会

「あなたは、この1年間に芸術・文化に接する機会がありましたか？」の結果、「この1年間に芸術・文化に接する機会があった（「自ら文化芸術活動をした」「文化芸術作品を鑑賞した」の合計）」は、239件であり、全体の22.9%となっています。また、経年推移（H25～R3）を見ると、調査方法は異なりますが、右肩下がり推移しており、R3は前回調査より13.9%低くなっています。

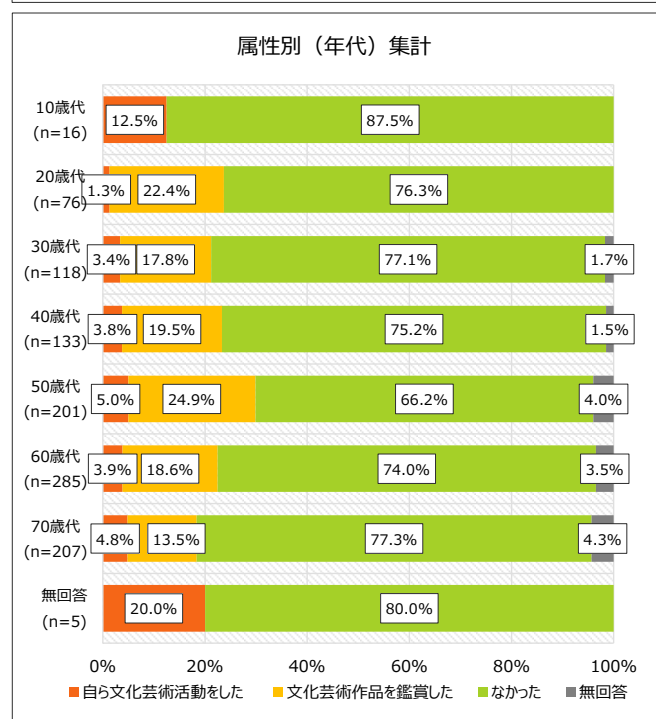


- ※ H25とH27は「1.美術展、舞台芸術、コンサート、映画など文化芸術作品の鑑賞を行った」「2.演奏や作品の創作、囲碁、将棋、茶道、華道など自ら文化芸術を行った」「3.鑑賞や文化芸術活動は行わなかつた」の3つの選択肢を設定。
- ※ H29、R1及びR3は「1.自ら文化芸術活動をした」「文化芸術作品を鑑賞した」「3.なかつた」の3つの選択肢を設定。

属性別（性別）集計結果を見ると、「この1年間に芸術・文化に接する機会があった（「自ら文化芸術活動をした」「文化芸術作品を鑑賞した」の合計）」と回答した割合は男性より女性の方がやや高くなっています。

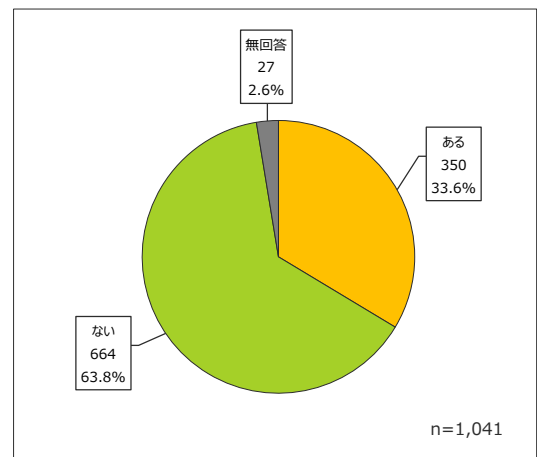


属性別（年代）集計結果を見ると、「この1年間に芸術・文化に接する機会があった（「自ら文化芸術活動をした」「文化芸術作品を鑑賞した」の合計）」と回答した割合は50歳代が他の年代と比べて高くなっています。

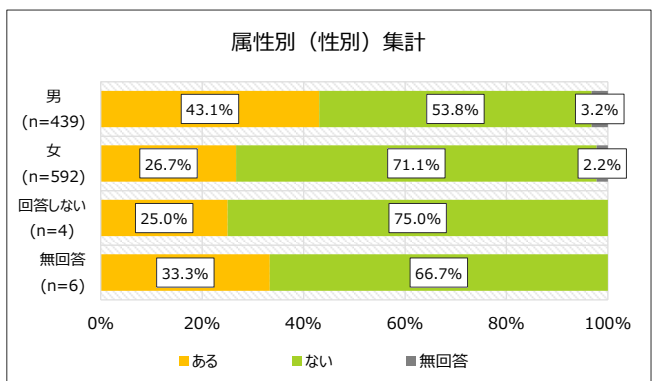


(8) 防災訓練活動への参加状況

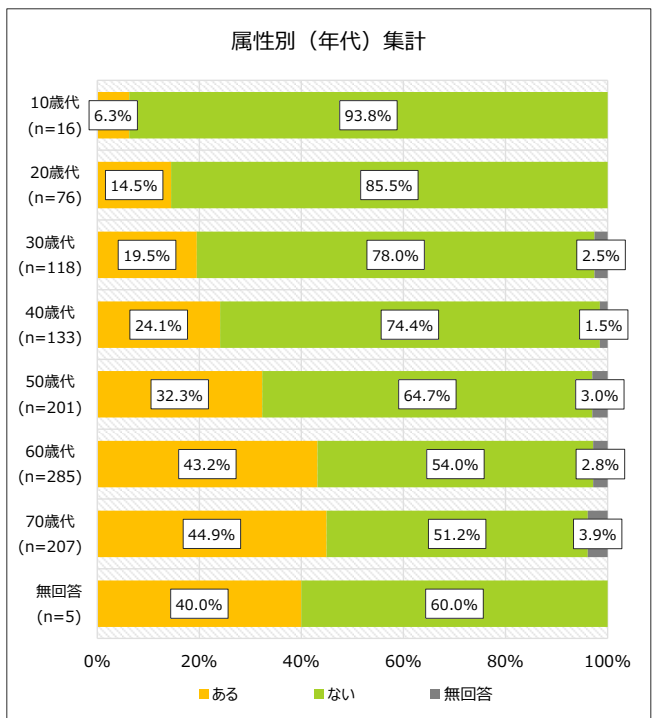
「あなたは、備前市や町内会等が実施する防災訓練活動に参加したことがありますか？」の結果、備前市や町内会等が実施する防災訓練活動に参加したことが「ある」が 350 件であり、全体の 33.6%となっています。



属性別（性別）集計結果を見ると、備前市や町内会等が実施する防災訓練活動に参加したことが「ある」と回答した割合は女性より男性の方が高くなっています。

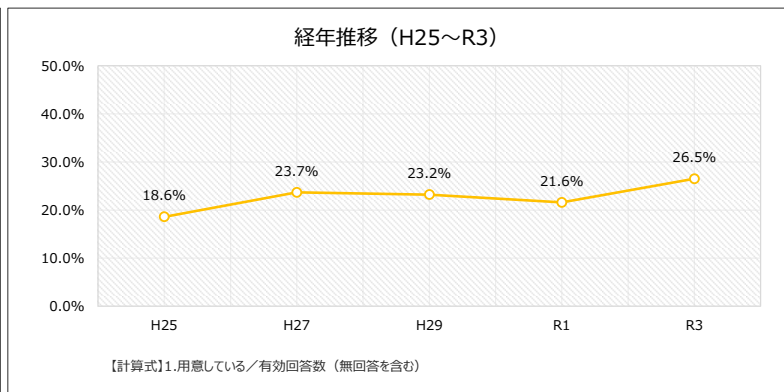
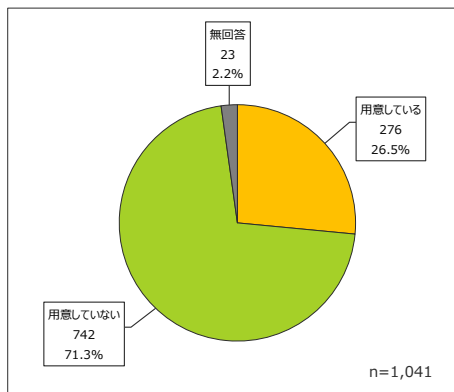


属性別（年代）集計結果を見ると、備前市や町内会等が実施する防災訓練活動に参加したことが「ある」と回答した割合は年代が上がるにつれて高くなっています。

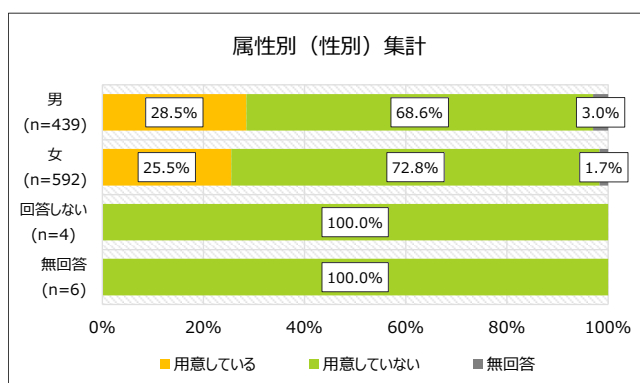


(9) 災害等に備えた備蓄品の準備状況

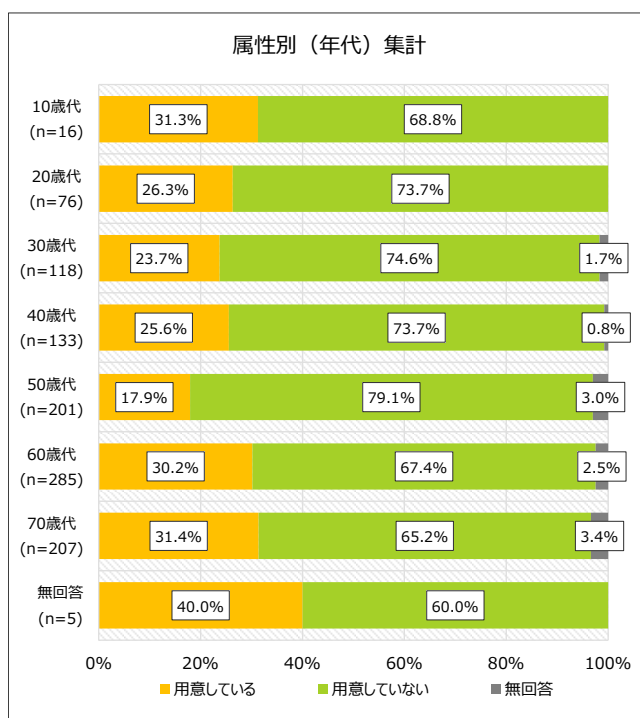
「あなた（の世帯）は、災害等に備えて備蓄品を3日分用意していますか？」の結果、災害等に備えて備蓄品を3日分「用意している」が276件であり、全体の26.5%となっています。また、経年推移（H25～R3）の結果を見ると、20%前後で推移しており、R3は前回調査より4.9%高くなっています。



属性別（性別）集計結果を見ると、災害等に備えて備蓄品を3日分「用意している」と回答した割合は女性より男性の方がやや高くなっています。

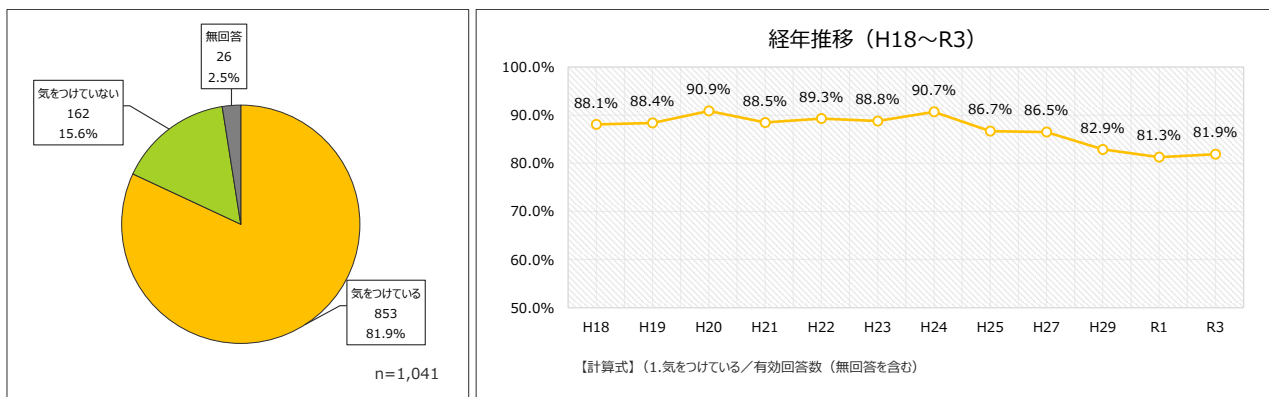


属性別（年代）集計結果を見ると、災害等に備えて備蓄品を3日分「用意している」と回答した割合は10歳代、60歳代、70歳代が他の年代と比べて高くなっています。また、50歳代が他の年代と比べて低くなっています。

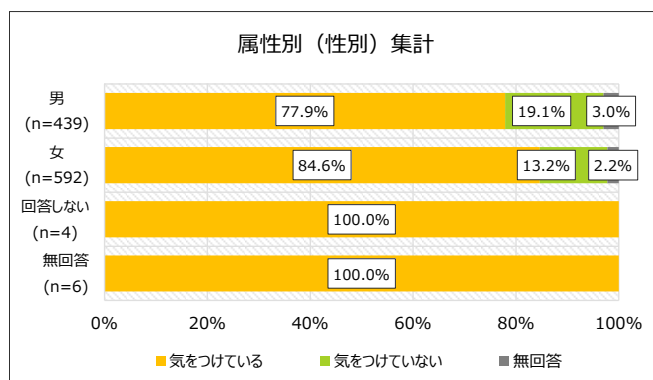


(10) 自分の健康への関心

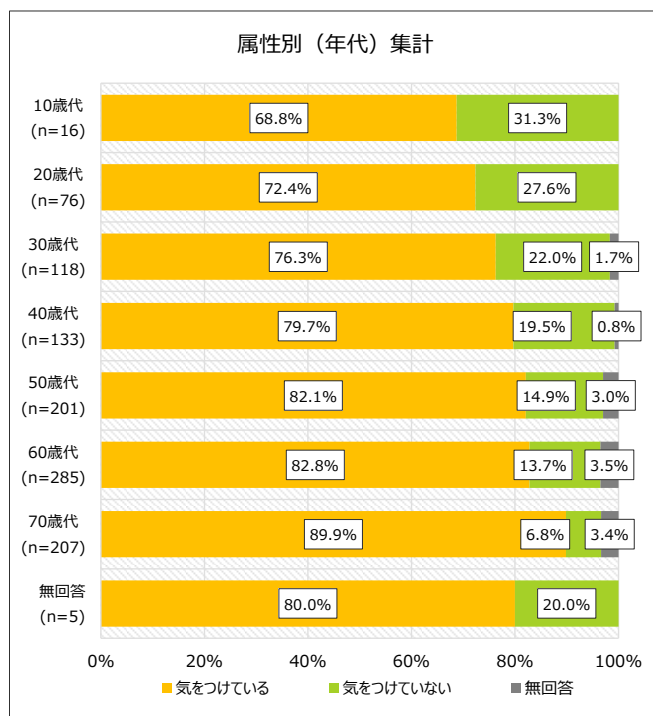
「あなたは、自分の健康に気をつけていますか？」の結果、自分の健康に「気をつけている」が853件であり、全体の81.9%となっています。また、経年推移（H18～R3）を見ると、90%前後で推移しており、R3は前回調査より0.6%高くなっています。



属性別（性別）集計結果を見ると、自分の健康に「気をつけている」と回答した割合は男性より女性の方が高くなっています。

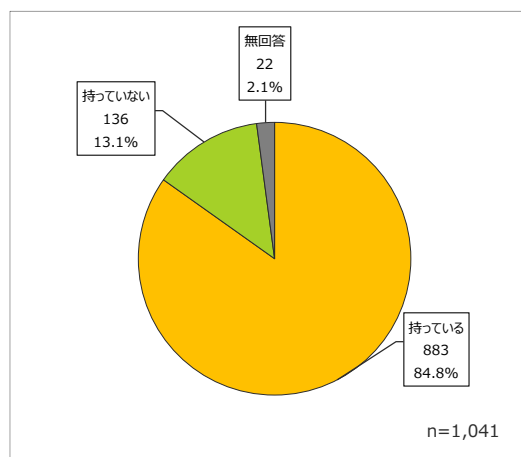


属性別（年代）集計結果を見ると、自分の健康に「気をつけている」と回答した割合は、年代が上がるにつれて高くなっています。

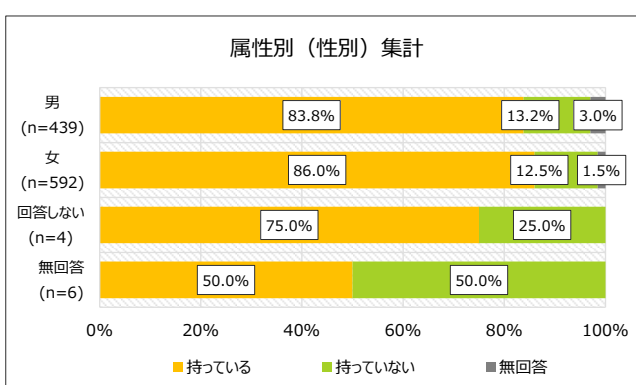


(11) スマートフォン（タブレット型端末を含む）の保有状況

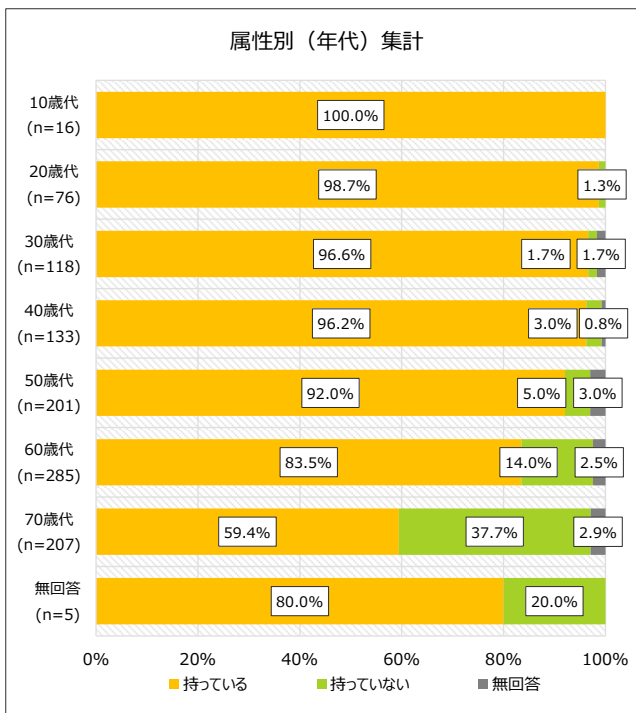
「あなたは、通信可能なスマートフォン（タブレット型端末を含む）を持っていますか？」の結果、通信可能なスマートフォン（タブレット型端末を含む）を「持っている」が 883 件であり、全体の 84.8%となっています。



属性別（性別）集計結果を見ると、通信可能なスマートフォン（タブレット型端末を含む）を「持っている」と回答した割合は男性より女性の方が高くなっています。

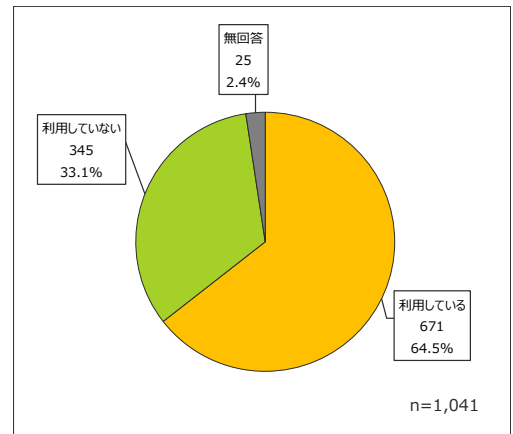


属性別（年代）集計結果を見ると、通信可能なスマートフォン（タブレット型端末を含む）を「持っている」と回答した割合は 10 歳代から 60 歳代までの年代で 80%を上回っています。一方で、70 歳代は他の年代と比べて低くなっています。

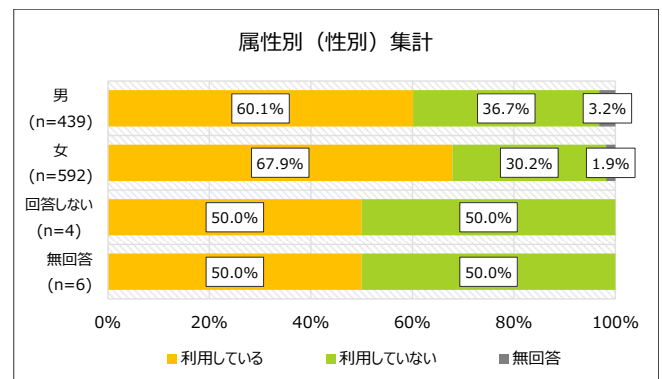


(12) キャッシュレス決済（クレジットカード、電子マネー、QRコード決済など）の利用状況

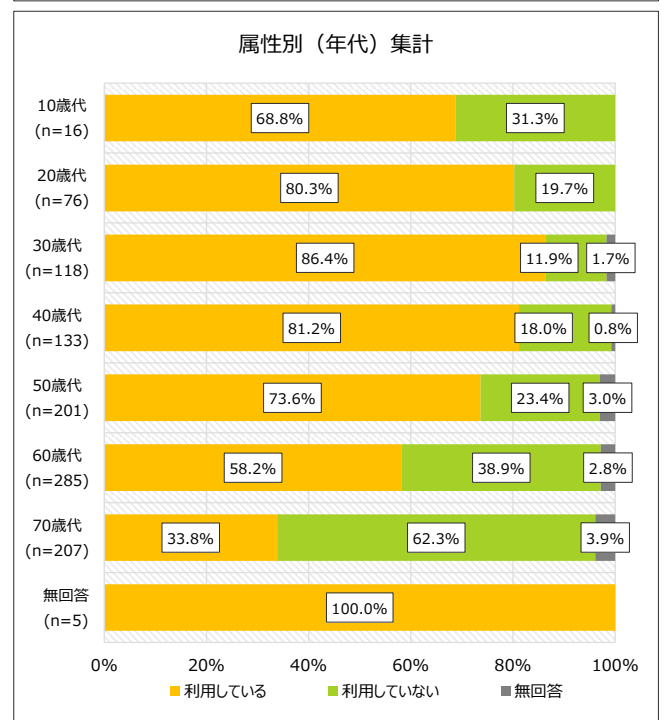
「あなたは、現在、キャッシュレス決済（クレジットカード、電子マネー、QRコード決済など）を利用していますか？」の結果、現在、キャッシュレス決済を「利用している」が671件であり、全体の64.5%となっています。



属性別（性別）集計結果を見ると、現在、キャッシュレス決済（クレジットカード、電子マネー、QRコード決済など）を「利用している」と回答した割合は男性より女性の方が高くなっています。

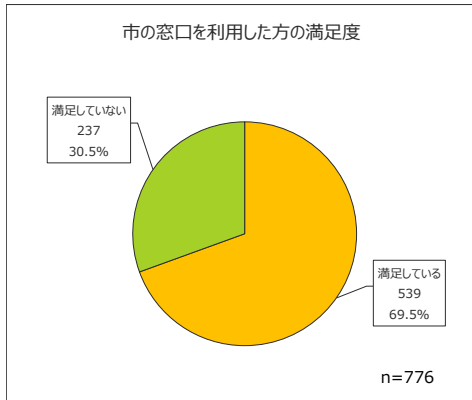
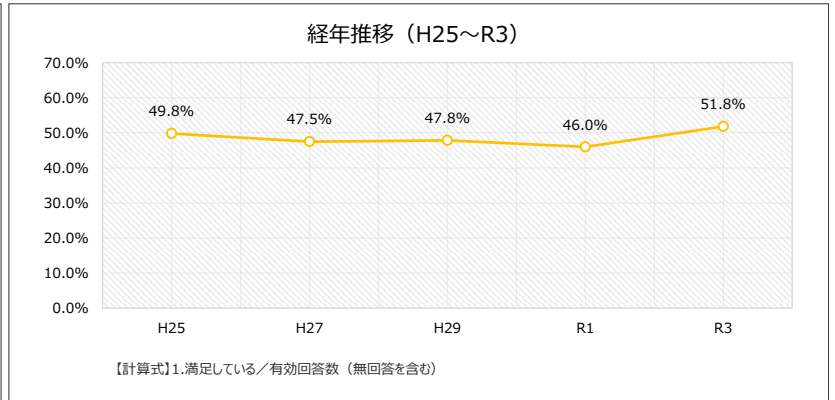
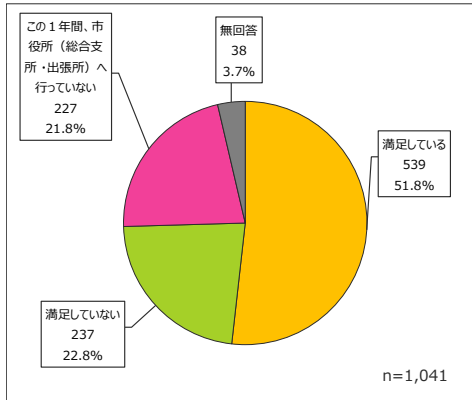


属性別（年代）集計結果を見ると、現在、キャッシュレス決済（クレジットカード、電子マネー、QRコード決済など）を「利用している」と回答した割合は、20歳代から40歳代で80%を上回っています。



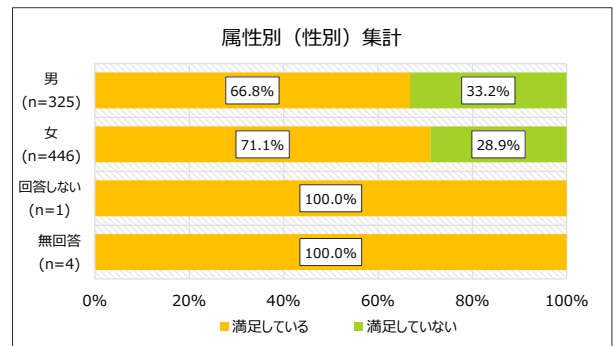
(13) 市の窓口対応の状況

「あなたは、市の窓口での対応に満足していますか？」の結果、市の窓口での対応に「満足している」が539件であり、全体の51.8%となっています。また、経年推移（H25～R3）を見ると、ほぼ同程度で推移しており、R3は前回調査より5.8%高くなっています。

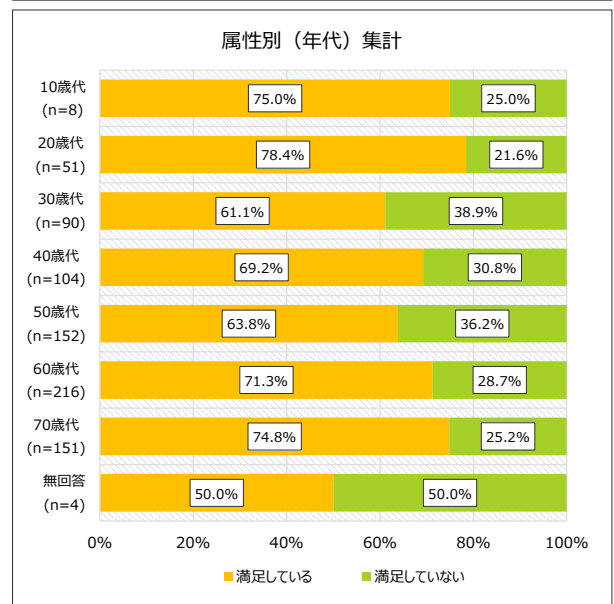


市の窓口を利用した（「満足している」「満足していない」方（n=776）の回答は、「満足している」が539件（69.5%）、「満足していない」が237件（30.5%）となっています。

市の窓口を利用した（「満足している」「満足していない」方（n=776）の属性別（性別）集計結果を見ると、市の窓口での対応に「満足している」と回答した割合は男性より女性の方がやや高くなっています。

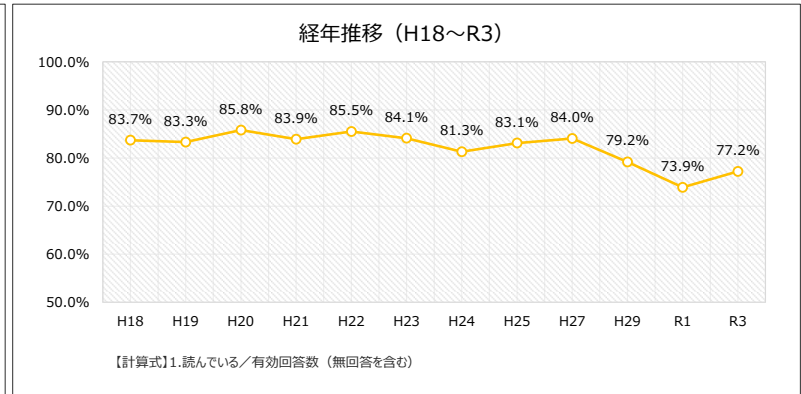
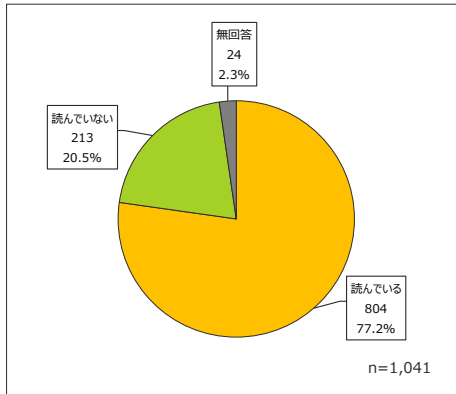


市の窓口を利用した（「満足している」「満足していない」方（n=776）の属性別（年代）集計結果を見ると、市の窓口での対応に「満足している」と回答した割合は、すべての年代で61%を上回っています。

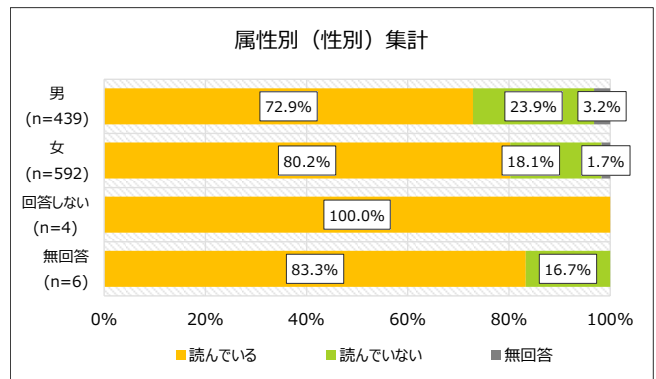


(14) 「広報びぜん」の認知度

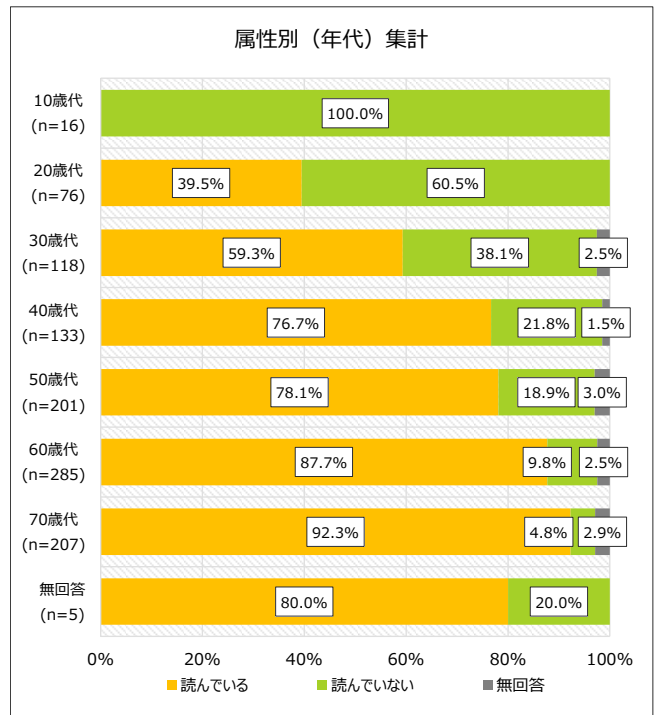
「あなたは、「広報びぜん」を読んでいますか？」の結果、「広報びぜん」を「読んでいる」が804件であり、全体の77.2%となっています。また、経年推移（H18～R3）を見ると、H27以降、右肩下がりで推移していましたが、R3は前回調査より3.3%高くなっています。



属性別（性別）集計結果を見ると、「広報びぜん」を「読んでいる」と回答した割合は男性より女性の方が高くなっています。

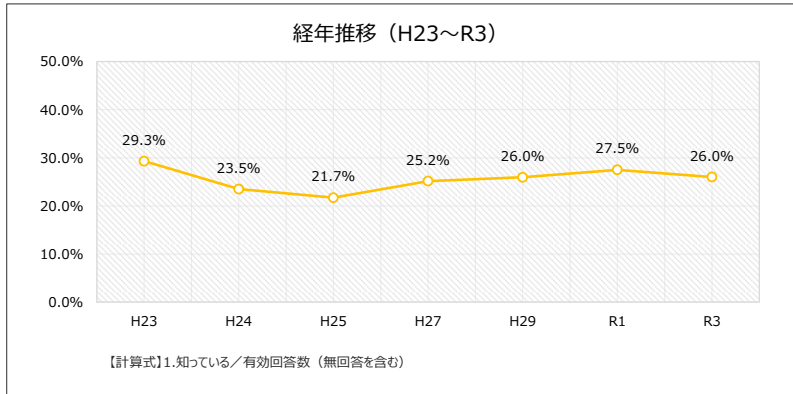
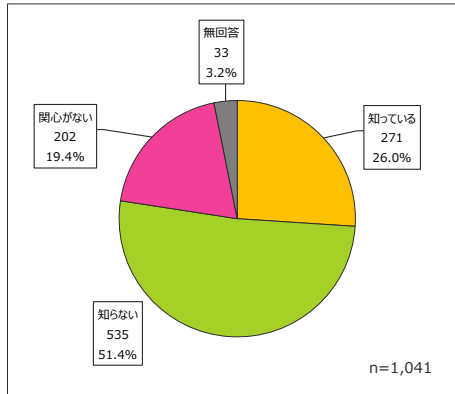


属性別（年代）集計結果を見ると、「広報びぜん」を「読んでいる」と回答した割合は、年代が上がるにつれて高くなっています。

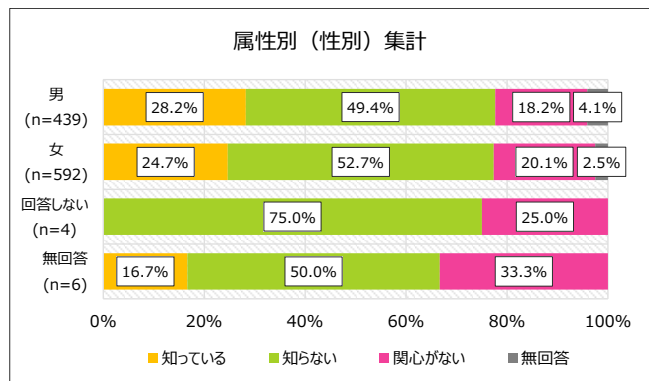


(15) 市議会議員の活動内容の認知度

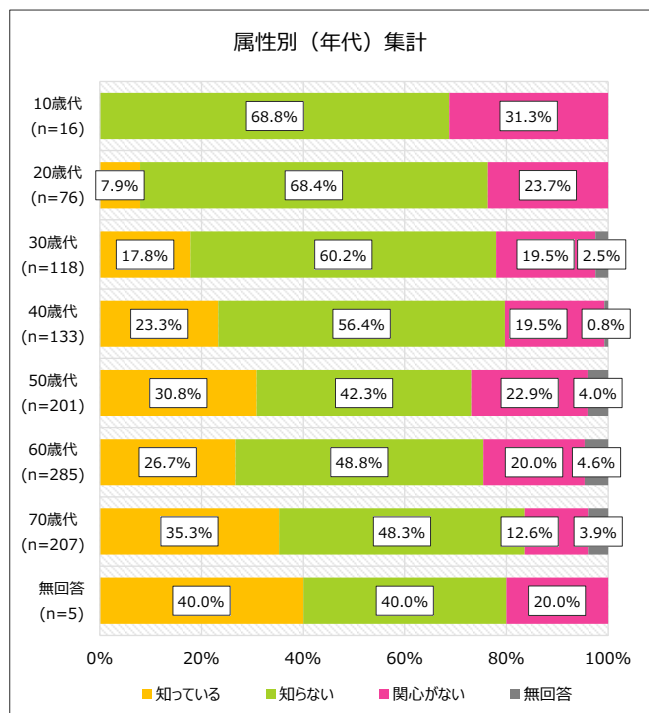
「あなたは、市議会議員の活動内容を知っていますか?」の結果、市議会議員の活動内容を「知っている」が271件であり、全体の26.0%となっています。また、経年推移（H23～R3）を見ると、H27以降、ほぼ同程度で推移しており、R3は前回調査より1.5%低くなっています。



属性別（性別）集計結果を見ると、市議会議員の活動内容を「知っている」と回答した割合は女性より男性の方が高くなっています。

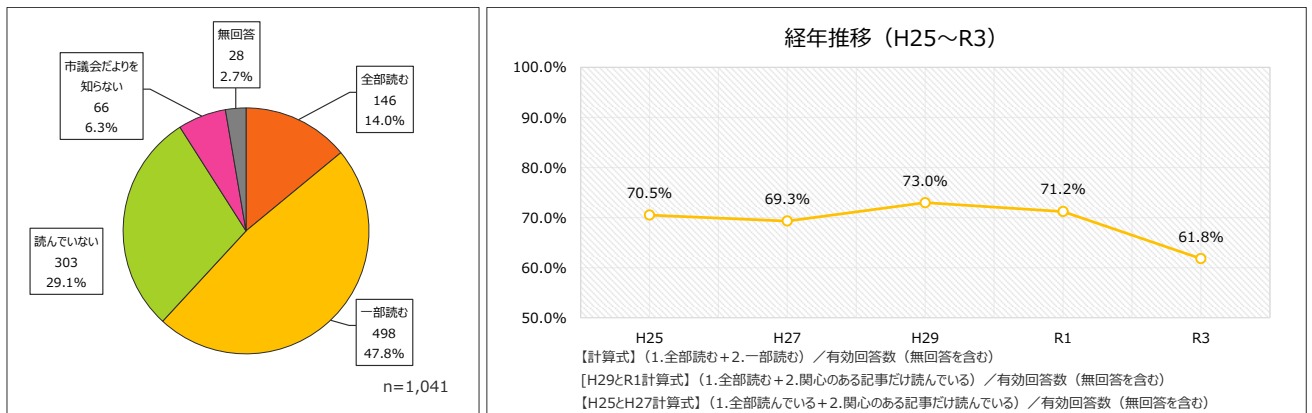


属性別（年代）集計結果を見ると、市議会議員の活動内容を「知っている」と回答した割合は、50歳代と70歳代が30%を上回っています。



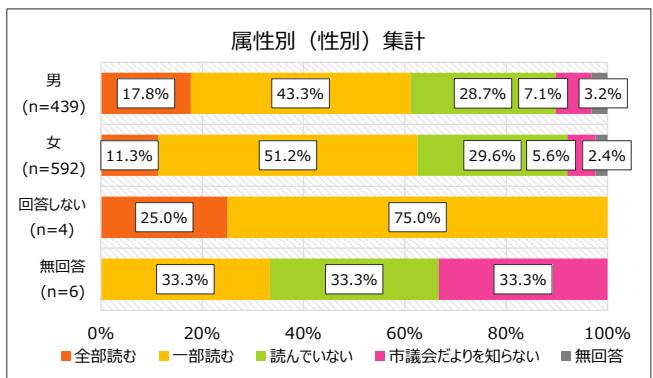
(16) 「市議会だより」の認知度

「あなたは、「市議会だより」を読んでいますか？」の結果、「市議会だより」を「読んでいる（「全部読む」「一部読む」の合計）」が644件であり、全体の61.8%となっています。また、経年推移（H25～R3）を見ると、70%前後で推移していますが、R3は前回調査より9.4%低くなっています。

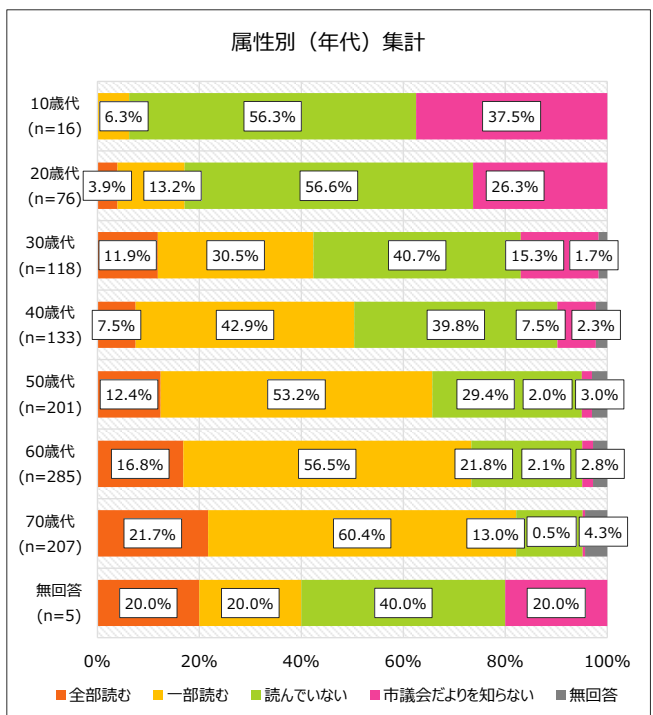


- ※ H25とH27は「1.全部読んでいる」「2.関心のある記事だけ読んでいる」「3.読んでいない」の3つの選択肢を設定。
- ※ H29、R1及びR3は「1.全部読む」「2.関心のある記事だけ読んでいる」「3.記事が難しいので読んでいない」「4.市議会だよりを知らない」の4つの選択肢を設定。
- ※ R3は「1.全部読む」「2.一部読む」「3.読んでいない」「4.市議会だよりを知らない」の4つの選択肢を設定。

属性別（性別）集計結果を見ると、「市議会だより」を「読んでいる（「全部読む」「一部読む」の合計）」と回答した割合は男性より女性がやや高くなっています。



属性別（年代）集計結果を見ると、「市議会だより」を「読んでいる（「全部読む」「一部読む」の合計）」と回答した割合は、年代が上がるにつれて高くなっています。



6. 市政への意見

「市政に関するご意見がございましたら、ご記入ください」（自由記述）の結果、市の取組別の主な意見は以下のとおりです。

◆教育・文化に関する主な意見

生涯を通じた教育（11件）
<ul style="list-style-type: none"> ● 瀬戸内市や玉野市、赤磐市などのような図書館を作ってほしい。 ● みんなが集えるような図書館にしてほしい。
0歳～入学前のこどもの保育など（20件）
<ul style="list-style-type: none"> ● 待機児童数を減らしてほしい。 ● 保育士、保育教諭の数を増やし、子どもと関わる時間を増やしてほしい。 ● 保育料無償化をやめてほしい（待機児童が増えるため）。
学校教育（24件）
<ul style="list-style-type: none"> ● 小学校の通学バスを増やしてほしい。 ● 通学路の歩道が狭すぎて危険なため、歩道橋や地下通路など安心して通学できるよう対応してほしい。 ● 子どもが減ってきているため小学校・中学校の統合が必要である。
「歴史文化」と「伝統文化」（3件）
<ul style="list-style-type: none"> ● 郷土の偉人の顕彰施設、熊沢蕃山の記念館をぜひ建立してほしい。 ● 海外の企画展をする美術館があるとよい。
「スポーツ」や「レクリエーション」（20件）
<ul style="list-style-type: none"> ● 子どもが安心・安全に遊べる場所を増やしてほしい。 ● 公園の遊具が壊れて撤去されているため、子どもが遊ぶ遊具が減っている。 ● スポーツ施設が少なく、利用料も高い。

◆交流・コミュニティに関する主な意見

「コミュニティ」や「町内会」（5件）
<ul style="list-style-type: none"> ● 身近な集まりの中で意見交換する場がない。 ● 広報のデジタル化や自治会費集金のオンライン化などデジタルを進めてほしい（役員など一部の住民の負担が大きいため）。
人権問題（2件）
<ul style="list-style-type: none"> ● 安心・安全で差別のない市政を望む。 ● 人権標語を活用してほしい。
国際交流（0件）
<ul style="list-style-type: none"> ● （なし）

◆健康・福祉に関する主な意見

健康づくり（0件）
<ul style="list-style-type: none"> ● （なし）
子育て支援（10件）
<ul style="list-style-type: none"> ● 学童保育の利用条件や時間、費用などを見直ししてほしい。

<ul style="list-style-type: none"> ● 若者世代が備前市で子どもを産み育てたいと思えるような支援が必要である。
生活に困っている方への支援（5件）
<ul style="list-style-type: none"> ● 生活保護及び母子手当を見直ししてほしい。 ● 今後の仕事や親の高齢化など将来への不安が解消されるよう相談窓口があるとよい。
障がいがある方への支援（5件）
<ul style="list-style-type: none"> ● 障がいのある子どもがのびのびと生活できる学校を作ってほしい。 ● JRなどの公共交通機関のバリアフリー化をしてほしい。
高齢の方への支援（29件）
<ul style="list-style-type: none"> ● 高齢者が活躍できる社会の仕組みが必要である。 ● 高齢者が働ける場所や必要な医療を受けることができる環境を作ってほしい。 ● 車の運転ができなくなった時の買い物や通院に不安を感じている。 ● 高齢者の免許返納を進められるくらい生活しやすいまちになってほしい。
医療（37件）
<ul style="list-style-type: none"> ● 新型コロナウイルス感染症の対応を強化・充実してほしい（PCR検査の実施、65歳以下の接種券の配布、ワクチンの予約キャンセル時の有効活用など）。 ● 小児科や産婦人科を作ってほしい。 ● 医療従事者（医師、看護師など）の資質を向上してほしい。

◆産業経済・都市計画に関する主な意見

「商工業」と「海運業」（70件）
<ul style="list-style-type: none"> ● 企業誘致を進めてほしい（JR備前片上駅周辺の開発、企業団地の造成など）。 ● 工場、大学、店舗などの誘致をしてほしい。 ● アルファビゼンの活用を検討してほしい。 ● 飲食できるところを増やしてほしい。 ● スーパーやコンビニが少ない。 ● 優秀な人材が働きたいと思う職場がない。
「農業」や「林業」、「漁業」（6件）
<ul style="list-style-type: none"> ● 耕作放棄地の対策をしてほしい。 ● 排水路や農道の整理をしてほしい。 ● 農業の担い手の育成や休耕地の有効活用を検討してほしい。
観光（12件）
<ul style="list-style-type: none"> ● 備前焼に代わる観光スポットを考える。 ● 駅前やフェリー乗り場をもっと美しく人が立ち寄りたくなるような魅力的な場所にする。 ● 新型コロナウイルス感染症が落ち着いたら観光にもっと力を入れるべきである。
まちづくり（112件）
<ul style="list-style-type: none"> ● 地域により発展状況に差があるため、地域差が出ないように工夫してほしい。 ● インフラが老朽化しているため耐震対策に力を入れてほしい。 ● 市の財政状況をよくする取組を進めてほしい。 ● 人口がこれ以上減少しないよう魅力あるまちづくりをしてほしい。 ● 行政手続きのオンライン化（キャッシュレス決済、ペーパーレスなど）を進めてほしい。
「移住」と「定住」（6件）

<ul style="list-style-type: none"> ● 若者が住み続けたいと思えるようなまちにしてほしい。 ● 市の地理的特徴（気候など）を活かして都会からの移住先としてサテライトなどで PR できるとよい。
「住居」と「分譲宅地」（11 件）
<ul style="list-style-type: none"> ● 空き家が多く、老朽化も進んでいるため対策が必要である。 ● リフォームへの補助制度の金額が以前より減っている。 ● 若い世代や若い夫婦などを優遇し、人口減少を抑制してほしい。

◆安全・生活基盤に関する主な意見

「消防」と「防災」（7 件）
<ul style="list-style-type: none"> ● 茶臼山を避難場所として整備してほしい。 ● 台風などの自然災害に備えて高潮対策ができていない場所の調査・整備をしてほしい。
「河川」や「土砂災害」（2 件）
<ul style="list-style-type: none"> ● 金剛川の草木を撤去してほしい。
上水道（4 件）
<ul style="list-style-type: none"> ● 水道料金が高いため見直ししてほしい。
下水道（4 件）
<ul style="list-style-type: none"> ● 下水道料金が高いため見直ししてほしい。 ● 下水道を早く整備してほしい。
「道路」や「港」（28 件）
<ul style="list-style-type: none"> ● 街灯を増やしてほしい。 ● 国道 2 号線の渋滞への対応を検討してほしい。 ● 道路が狭く、救急車や消防車が通りにくい。 ● 駐車場が少ない。

◆生活環境に関する主な意見

「バス」や「JR」（29 件）
<ul style="list-style-type: none"> ● 公共交通（JR、バス）の利便性が悪い。 ● 駅からのバス増便、市バスの路線、停留所の見直しをしてほしい。 ● 民間路線バスを復活してほしい（片上－日生間）。 ● 小型備前バスがもっと細かいルートで回ってほしい。 ● 駅をバリアフリー化してほしい。
「ごみ」や「斎場」、「墓地」（14 件）
<ul style="list-style-type: none"> ● 資源ゴミを出せる日をふやしてほしい。 ● 斎場と火葬場を建設してほしい。 ● 国道、県道ともにゴミの投げ捨てが多いため対応を検討してほしい。
「公害」と「地球温暖化」（2 件）
<ul style="list-style-type: none"> ● SDGs を推進してほしい。 ● 環境保全の対策を進めてほしい。

Ⅲ. 巻末資料（調査票）

※この調査票に直接回答し、返送してください

1 あなた自身のことをお答えください

(1) あなたの性別は？

1. 男 2. 女 3. その他 4. 回答しない

(2) あなたの年齢は？（令和3年4月1日現在の満年齢で選んでください。）

1. 10歳代 2. 20歳代 3. 30歳代 4. 40歳代 5. 50歳代 6. 60歳代 7. 70歳代

(3) あなたの居住地は？

1. 西鶴山・香登 2. 伊部・浦伊部・久々井 3. 片上
4. 閑谷・木谷・伊里中 5. 蕃山・麻宇那・友延・穂浪 6. 東鶴山 7. 三石
8. 日生（諸島含む） 9. 寒河・寺山
10. 金谷・福満・南方・吉永中・三股・岩崎 11. 神根・三国

(4) あなたも含め、同居のご家族の中に高校生以下の方がいらっしゃいますか？

1. いる 2. いない

2 1～28の番号のなかで、

①評価できるもの ②今後重点的に進めてほしいもの をそれぞれ3つまで選んでください。

1	生涯を通じた教育	A.まなび塾 B.青少年健全育成 C.奨学金 D.図書館 E.中央・地域・地区公民館
	2	0歳～入学前のこどもの保育など
3		学校教育
	4	「歴史文化」と「伝統文化」
5		「スポーツ」や「レクリエーション」
	6	「コミュニティ」や「町内会」
7		人権問題
	8	国際交流
9		健康づくり
	10	子育て支援
11		生活に困っている方への支援
	12	障がいがある方への支援
13		高齢の方への支援
	14	医療

※この調査票に直接回答し、返送してください

15	「商工業」と「海運業」	22	「河川」や「土砂災害」
	A.企業誘致 B.企業団地造成 C.企業支援 D.商工会議所・商工会支援 E.海運業支援		A.河川維持管理・改修 B.ため池維持管理・改修 C.急傾斜地等の整備促進
16	「農業」や「林業」、「漁業」	23	上水道
	A.農道、水路 B.有害鳥獣対策 C.漁港の整備 D.里山里山のまちづくり E.担い手の確保・育成		A.水道料金 B.水の安定供給 C.安全でおいしい水
17	観光	24	下水道
	A.観光推進 B.情報発信 C.備前焼振興 D.観光ボランティア E.外国人観光客の誘客		A.下水道料金 B.合併浄化槽 C.下水道整備 D.雨水対策
18	まちづくり	25	「道路」や「港」
	A.市営駐車場 B.都市計画 C.区画整理事業 D.都市公園		A.市道維持管理 B.道路環境安全対策 C.高潮対策 D.市管理港湾維持管理 E.プッシュポート係留施設
19	「移住」と「定住」	26	「バス」や「JR」
	A.若年者新築補助 B.若年者家賃補助 C.リフォーム補助 D.空き家バンク E.赤穂上郡定住自立圏		A.市営バス B.JR C.離島航路 D.生活交通チケット E.民間路線バス
20	「住居」と「分譲宅地」	27	「ごみ」や「斎場」、「墓地」
	A.市営住宅 B.分譲宅地造成 C.木造住宅の耐震化 D.老朽空き家対策		A.ごみ収集 B.リサイクル C.斎場 D.市営墓地
21	「消防」と「防災」	28	「公害」と「地球温暖化」
	A.東備消防 B.消防団 C.防災行政無線 D.自主防災組織 E.災害時の要援護者対策		A.大気汚染 B.水質汚染 C.地球温暖化対策 D.環境意識啓発活動

※ALT…Assistant Language Teacher 外国語指導助手

① 評価できるもの(順不同)

番号	選んだ番号の中で特に評価する取組を、A～Gの記号または言葉で自由に記入してください
例) 10	例) A ← 子ども医療費 B ← 放課後児童クラブ 子育て支援センター ← 自由記入

② 今後重点的に進めてほしいもの(順不同)

番号	選んだ番号の中で重点的に進めてほしい取組を、A～Gの記号または言葉で自由に記入してください

3 新型コロナウイルスワクチン接種等についてお答えください

1 新型コロナウイルスワクチン接種については国民の努力義務として全国で実施されています。ワクチン接種について、あなたのお気持ちをお聞かせください。(〇は1つ)

- | | |
|------------|--------------------|
| 1. 接種したい | 2. 疾患等で接種したくてもできない |
| 3. 接種したくない | 4. すでに接種済(1回接種を含む) |

※医療従事者等の接種に始まり、65歳以上の高齢者 → 基礎疾患のある方、60～64歳の方 → 60歳以下の方の順にワクチン接種が行われる予定です。

2 コロナ禍以前と比べて、生活や心身にどのような変化がありましたか？(〇はいくつでも)

- | | |
|-------------------------|--------------------------|
| 1. 感染への不安でストレスを感じる | 2. 家族と過ごす時間が長くなりストレスを感じる |
| 3. 親族や知人と会う機会が減り、孤独を感じる | 4. 収入が減って家計が苦しくなった |
| 5. 食生活が乱れた | 6. 運動不足になった(体力が落ちた) |
| 7. 特に変化はない | 8. その他() |

4 あなたにとっての「備前市」についてお答えください

1 あなたは、「備前市」に愛着を持っていますか？(〇は1つ)

- | | | |
|----------|------------|-------------|
| 1. 愛着がある | 2. やや愛着がある | 3. あまり愛着がない |
| 4. 愛着がない | 5. わからない | |

2 あなたは、今の場所に住み続けたいと思いますか？それとも引っ越したいと思いますか？(〇は1つ)

- | | |
|----------------|-----------------------|
| 1. 今の場所に住み続けたい | 2. 市内でよいところがあれば引っ越したい |
| 3. 市外へ引っ越したい | 4. わからない |

3 あなたは、「備前市は安心して子どもを産み育てることができるまちだ」と思いますか？(〇は1つ)

- | | | | | |
|---------|-----------|--------------|--------------|-----------|
| 1. そう思う | 2. まあそう思う | 3. どちらともいえない | 4. あまりそう思わない | 5. そう思わない |
|---------|-----------|--------------|--------------|-----------|

4 あなたは、「備前市は高齢者が安心して生活できるまちだ」と思いますか？(〇は1つ)

- | | | | | |
|---------|-----------|--------------|--------------|-----------|
| 1. そう思う | 2. まあそう思う | 3. どちらともいえない | 4. あまりそう思わない | 5. そう思わない |
|---------|-----------|--------------|--------------|-----------|

【自由意見】 市政に関するご意見がございましたら、ご記入ください。

5 あなたの普段の生活についてお答えください

- 1 あなたは、自発的な学習に取り組んだり、趣味の会やグループ活動に参加していますか？（○は1つ）
1. 参加している 2. 参加していない
- 2 あなたは、スポーツ（運動）を定期的に行っていますか？（○は1つ）
1. 週に2日以上している 2. 週に1日はしている 3. ほとんどしていない
- 3 あなたは、市内の体育施設をどのくらいの頻度で利用しますか？（○は1つ）
1. 週に1回以上 2. 月に1回程度 3. 月に1回未満(年に数回程度) 4. ほとんど利用しない
- 4 あなたは、「地域や職場で男女が対等に活躍できている」と思いますか？（○は1つ）
1. そう思う 2. まあそう思う 3. どちらともいえない 4. あまりそう思わない 5. そう思わない
- 5 あなたは、配偶者からの暴力(DV)に関する相談窓口の存在を知っていますか？（○は1つ）
1. 知っている 2. 知らない
- 6 あなたは、旧閉谷学校のことを来訪者に説明できますか？（○は1つ）
1. 説明できる 2. 少しは説明できる 3. 説明できない
- 7 あなたは、この1年間に芸術・文化に接する機会がありましたか？（○は1つ）
1. 自ら文化芸術活動をした 2. 文化芸術作品を鑑賞した 3. なかった
- 8 あなたは、備前市や町内会等が実施する防災訓練活動に参加したことがありますか？（○は1つ）
1. ある 2. ない
- 9 あなた(の世帯)は、災害等に備えて備蓄品を3日分用意していますか？（○は1つ）
1. 用意している 2. 用意していない
- 10 あなたは、自分の健康に気をつけていますか？（○は1つ）
1. 気をつけている 2. 気をつけていない
- 11 あなたは、通信可能なスマートフォン（タブレット型端末を含む）を持っていますか？（○は1つ）
1. 持っている 2. 持っていない
- 12 あなたは、現在、キャッシュレス決済（クレジットカード、電子マネー、QRコード決済など）を利用していますか？（○は1つ）
1. 利用している 2. 利用していない
- 13 あなたは、市の窓口での対応に満足していますか？（○は1つ）
1. 満足している 2. 満足していない 3. この1年間、市役所(総合支所・出張所)へ行っていない
- 14 あなたは、「広報びぜん」を読んでいますか？（○は1つ）
1. 読んでいる 2. 読んでいない
- 15 あなたは、市議会議員の活動内容を知っていますか？（○は1つ）
1. 知っている 2. 知らない 3. 関心がない
- 16 あなたは、「市議会だより」を読んでいますか？（○は1つ）
1. 全部読む 2. 一部読む 3. 読んでいない 4. 市議会だよりを知らない

ご協力、ありがとうございました。 **6月25日（金）**までに郵便ポストに投函してください。